

# CATEYE

# STEALTH<sup>e</sup>VO+

CYCLOCOMPUTER CC-GL51 JP



## 取扱説明書



**ご使用前に必ず本書を最後までよく読んで、いつでも見られるように大切に保管してください。**

- ※ このPDFには、YouTubeへのリンクが含まれています。「ビデオを見る」ボタンをクリックするとセキュリティに関するメッセージを表示しますので、「許可」ボタンをクリックしてください。ブラウザが起動してムービーを再生します。
- ※ 本製品のYouTubeムービーおよび取扱説明書は予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書(PDF)は当社ホームページからご覧ください。
- ※ このマニュアルは、PC(Windows/Mac)の操作および用語などの基本的な知識があることを前提に説明しています。

## 本器の特徴

### 計測方法

本器にはGPSと加速度センサーを内蔵しており、GPS信号のみで計測を行えるほか、ANT+通信規格に対応したセンサーの信号を受信することで、スピード・ケイデンス・心拍数・パワーの最大4つのデータを計測することができる多機能サイクロコンピュータです。

※ 本製品にANT+センサーは含まれておりません。ご利用の目的に応じて、オプションまたは市販のANT+センサーをご購入ください。

### 走行ルートを確認する

計測中は計測データと共にGPSからの位置情報を記録します。計測データは、PCの専用アプリ「CATEYE Sync™」に取込んで、専用サイト「CATEYE Atlas™」にアップロードすることで、あなたの軌跡や高度などの走行記録をトリップとしてサイト上のマップで確認することができます。「CATEYE Atlas™」では、本器やカメラ付きトリップレコーダーキャットアイINOUEで計測したトリップを蓄積することができ、サイクリングライフのデータベースとして活用いただけます。

## 本書の表記

- 本書では、コンピュータのボタン操作を以下のように表しています。

	電源ボタンを押す		MODEボタンを押す
	電源ボタンを2秒間押す (長押し)		MODEボタンを2秒間押す (長押し)
	MENUボタンを押す		

- 本マニュアルの説明上、コンピュータ画面の点滅表示を赤表記で表しています。

# 正しくご使用いただくために

## ⚠ 警告・注意

- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- ブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

## ANT+ センサー（オプションまたは市販品）

本器は、以下の4つのANT+ センサーからの信号を受信し、計測・表示することができます。

- スピードセンサー
- スピード/ケイデンス (ISC) センサー
- ケイデンスセンサー
- 心拍センサー
- パワーセンサー



- ※ 各センサーは最大2台までペアリングすることができます。
- ※ 弊社ではオプション部品として、スピード/ケイデンスセンサー (ISC-11)、心拍センサー (HR-11) をご購入頂けます。
- ※ 対応センサーについてはホームページをご確認ください。

## スピード計測可能な ANT+ センサーと GPS による計測方法

速度計測は、スピード計測可能なセンサーをお持ちでない場合でも GPS 信号により速度を算出することができます。センサーのスピード信号を感知した場合は、スピード信号を優先して計測を行います。センサーと GPS 信号による計測の違いは以下の通りです。

	GPS 信号による計測	スピード計測可能な ANT+ センサーによる計測
計測中	走行時の場所や環境により、GPS 信号が受信できず計測が中断したり、適正な計測値を表示しない場合があります。	走行時の場所や環境による GPS 信号が届きにくい場所でも正確な計測が可能です。
計測結果	計測結果は実際の値とは若干異なる場合があります。	車輪の回転数に基づいた計測のため、信頼性の高い計測値を得ることができます。

※ GPS については「GPS について」(3 ページ) をご覧ください。

## ANT+ について

ANT+ とは、周波数 2.4GHz を用いた低消費電力のデジタル通信規格です。これにより計測において外部ノイズや混信の影響を受けにくく、従来に比べ信頼性の高いデータを記録・保存することができます。

次のような場所や環境では干渉を受け、正しい計測が行えない場合があります。

※ 特にペアリング (センサー ID 照合) 中にはご注意ください。

- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや、自動車、鉄道車両内
- 踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地など
- 他のコードレス機器や一部のライトと併用してご利用の場合
- Wi-Fi 環境下

## センサー ID の自動認識について

ANT+ センサーは ID を持っており、コンピュータはこの ID を照合して計測を行います。コンピュータには、1 種類のセンサーにつき 2 つのセンサー ID を登録することができます。事前にペアリングすることで走行時に自動でセンサーを識別します。また、スピード計測可能なセンサーの ID にはタイヤ周長を設定するため、手動によるタイヤ周長切替は必要ありません。

※ 認識中のスピードセンサーまたはスピード/ケイデンス (ISC) センサーは画面上のスピードセンサーアイコン (🚲1、🚲2) で表示します。

## 自動認識の流れ






コンピュータは以下の流れでセンサー ID の自動認識が行なわれます。

- ① コンピュータの電源投入時の GPS サーチ画面やスタンバイ画面から計測画面に切替るタイミングで、各センサー（スピード・スピード/ケイデンス・ケイデンス・心拍・パワー）の信号をサーチします。

**△注意** このときセンサー信号を発信していないセンサーは認識できません。各センサーは以下の動作でセンサー信号を発信します。

センサーの種類	方法
スピードセンサー	
スピード/ケイデンス (ISC) センサー ※ CATEYE 製スピード/ケイデンス センサー (ISC-11) の場合は [ISC] を選択してペアリングを行います。	マグネットをセンサーゾーンに 数回近づける (間隔 3 mm 以内)
ケイデンスセンサー	
心拍センサー	心拍センサーを装着する
パワーセンサー	自転車に乗って軽く走行する

- ② 各センサーのペアリング済み ID から最も強い信号のセンサーを受信します。画面には、受信したセンサーに応じたセンサー信号アイコンを表示して計測を開始します。各センサーの表示内容は以下の通りです。

センサーの種類	画面表示
スピードセンサー	 S (点滅)
スピード/ケイデンス (ISC) センサー	 S・C (同時点滅)
ケイデンスセンサー	 C (点滅)
心拍センサー	 H (点滅)
パワーセンサー	 P (点滅)

※ スピード信号が受信できない場合、コンピュータは GPS 信号で計測を行います。この場合、スピード信号を感知した時点でセンサーによる計測に切替ります。

※ ケイデンス信号・心拍信号・パワー信号が受信できない場合、それらの計測値は表示しません。

## GPS について

GPS (Global Positioning System) は、衛星から送られる高精度な位置情報などを受信して、地球上の現在位置を調べるためのシステムです。

### GPS 信号の受信について

- コンピュータの電源をオンにしてから GPS 信号を取得するまでに数分かかる場合があります。
- GPS 信号サーチ中は、GPS 信号を受信するまで移動せず、とどまることをお勧めします。GPS 信号サーチ中に移動すると GPS 信号を受信するまでに更に時間がかかる場合があります。
- GPS 信号は、上空が開け、衛星に対して見通しのよい状態で受信しやすくなります。

### GPS 信号が受信できない場所について

以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値を得られない場合があります。

- トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など
- 悪天候 (雪や雨など)
- 高压電線や携帯電話の中継局の近く
- コンピュータの画面が上空を向いていない

※ GPS 信号で速度を算出する場合は、計測結果は実際の値とは若干異なる場合があります。

## バッテリーについて

リチウムイオン充電電池の能力を十分に発揮するため、下記の点をお守りください。

### 初めて使用するときや長期間使用しなかったとき

バッテリーは長期間放置しておくると待機電流により電圧が低下します。  
ご使用前に充電を行ってください。

### 充電時の注意

- 充電は炎天下の車内や直射日光下を避け、周辺温度が 5 ~ 40 °C の範囲で行ってください。
- 充電完了後は必ず USB プラグを抜いてください。
- USB プラグにゴミなどの異物が付着していないことを確認してから充電を行ってください。
- コンピュータが濡れた状態でクレードルにセットしないでください。接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。
- 充電中は振動を与えないでください。
- 接続した PC がスリープ状態では充電できません。

### 使用時の注意

- 高温状態での充電・放電・保管は充電電池の劣化を早めます。車の中や暖房機の近くには置かないでください。
- 正しく充電を行っても使用時間に著しい低下が見られる場合は、バッテリーの劣化による寿命です。詳しくは「バッテリーの交換について」、「コンピュータの廃棄方法」(43 ページ) をご覧ください。

### 保管の際の注意

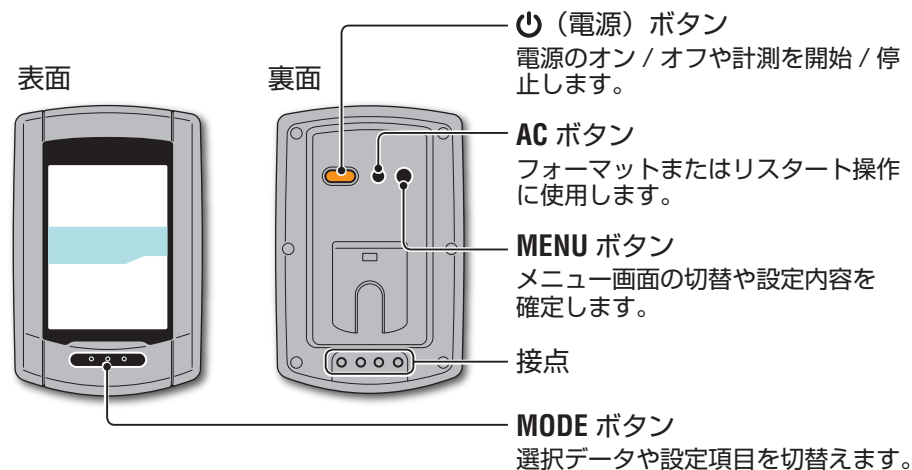
満充電での保管は避けてください。長期間使用しない場合は、ほぼ使い切った状態で高温多湿を避けて保管してください。なお、半年に 1 回 10 分程度充電してください。

### 廃棄の際の注意

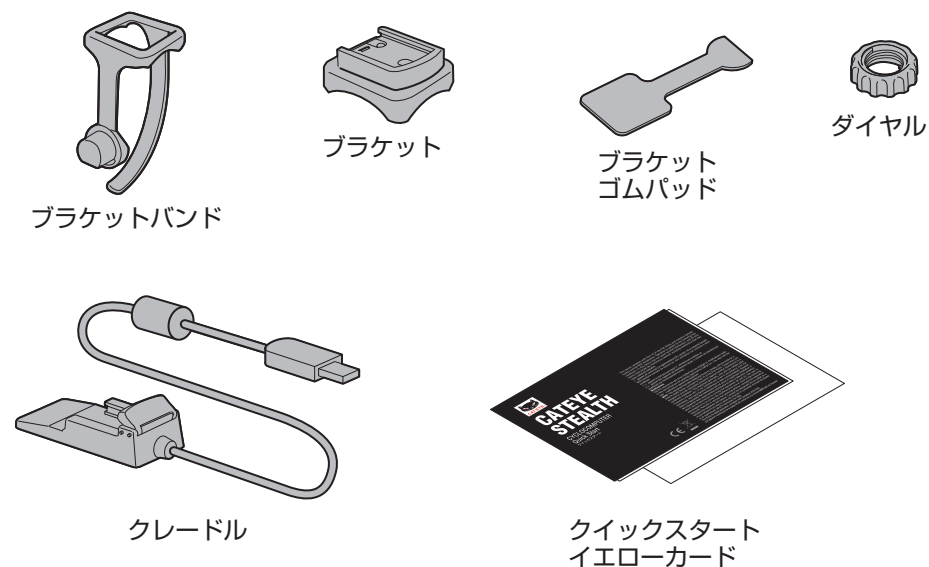
コンピュータを廃棄する際は、内部の充電電池を取出してから処分してください。バッテリーの交換・廃棄方法については、「コンピュータの廃棄方法」(43 ページ) をご覧ください。

## 各部の名称と付属品

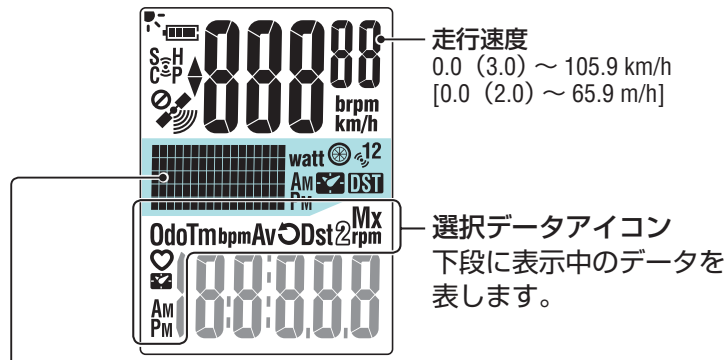
### コンピュータ



### 付属品



# 画面表示について



## ドット表示部

時刻または海拔高度を表示します。

※ 表示の切替は「中段選択」(CATEYESync™ の場合：30 ページ、コンピュータ単体の場合：39 ページ) をご覧ください。

※ パワー信号の受信時はパワー (ワット数) を表示します。

アイコン	説明
	<b>バッテリーアイコン</b> バッテリー残量の目安を 5 段階で表します。 ※ 充電方法については「電源のオン/オフ・充電方法」(7 ページ) をご覧ください。
    ↓ 	(点灯) バッテリー残量が多い ↓ バッテリー残量が少ない ↓ (点滅) バッテリー残量がありません。このときコンピュータは自動的に電源オフになります。速やかに充電してください。
	<b>センサー信号アイコン</b> ANT+ センサーの信号を受信した時に点滅します。
<b>S</b> (点滅) *1	スピード信号を受信中
<b>C</b> (点滅) *1	ケイデンス信号を受信中
<b>H</b> (点滅)	心拍信号を受信中
<b>P</b> (点滅)	パワー信号を受信中
*1: スピード/ケイデンス (ISC) センサーの場合は <b>S・C</b> が同時点滅します。	

アイコン	説明
	<b>ペースアロー</b> 走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。
	<b>GPS 信号受信アイコン</b> GPS の受信状態の目安を表します。
    ↓	(点灯) GPS 信号が強い ↓ GPS 信号が弱い
	<b>GPS 信号非受信アイコン</b> GPS 信号を受信できないときに点滅します。 この状態では計測できません。 ※ この状態が 10 分間継続すると自動的に電源がオフになります。(オートパワーオフ)
<b>km/h</b> <b>m/h</b>	<b>計測単位</b> 計測中は点滅します。
 	<b>スピードセンサーアイコン</b> 受信中のスピードセンサーまたはスピード/ケイデンス (ISC) センサーを表します。 ※ パワーセンサーからのスピード信号は除く。
<b>watt</b>	<b>パワー単位</b>
	<b>タイヤ周長アイコン</b> タイヤ周長入力時に点灯します。
	<b>時刻アイコン</b> 時刻表示中に点灯します。
<b>DST</b>	<b>サマータイムアイコン (Daylight saving time)</b> ※ サマータイムの設定については「時計設定」(CATEYESync™ の場合：30 ページ、コンピュータ単体の場合：33 ページ) をご覧ください。

# 自転車への取付方法

ビデオを見る  
(YouTube)

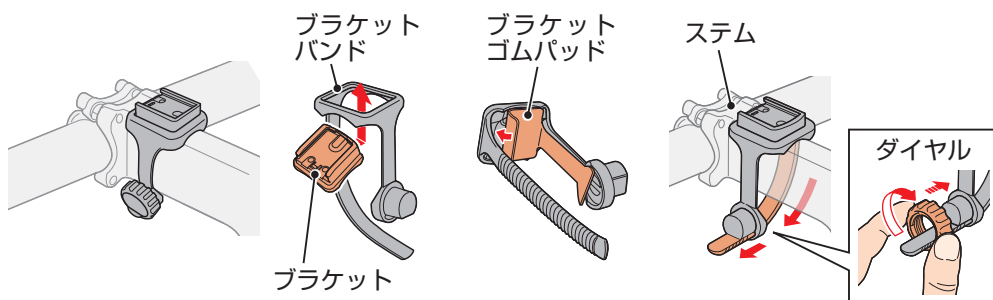
ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーを再生します。

## ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付ます

ブラケットはブラケットバンドへの組付けで、ステム・ハンドルバーどちらにも取付けることができます。

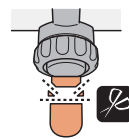
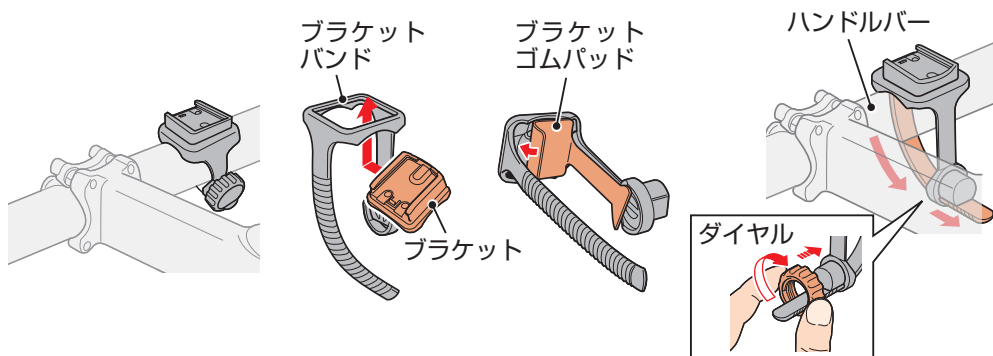
**△注意** ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。

### ステムに取付ける場合



### ハンドルバーに取付ける場合

※ GPS 信号を受信しやすくするためにコンピュータの画面が上空を向くようにブラケットの向きを調節してください。

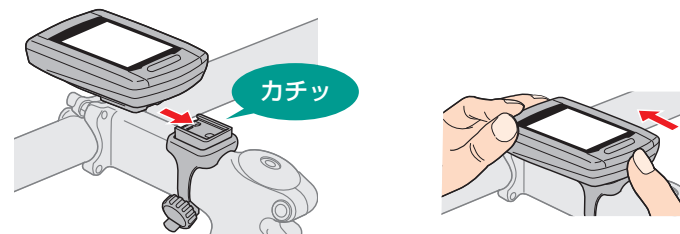


余分なバンドをはさみで切落します。

**△注意** ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

※ エアロ形状のハンドルバーや、より太いステムに装着する場合は、オプションのナイロンタイブラケットをご利用ください。

## コンピュータの着脱



**△注意** 取外す際は、コンピュータが落下しないよう手を添えながら押出してください。

## ANT+ センサーをお持ちの場合

各センサーの取扱説明書に従い、センサーを取付けてください。



※ オプションのスピード/ケイデンスセンサー (ISC-11) の取付方法については、「スピード/ケイデンスセンサー (ISC-11) の取付方法」(44 ページ) をご覧ください。

※ オプションの心拍センサー (HR-11) の装着方法については、「心拍センサー (HR-11) の装着方法」(45 ページ) をご覧ください。

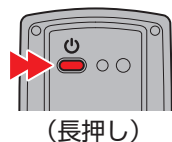
# 電源のオン/オフ・充電方法

## 電源のオン/オフ

コンピュータ裏面の  ボタンを2秒間長押しします。

※ はじめて電源をオンにした場合は、セットアップを行います。  
詳しくは「コンピュータのセットアップ」(本ページ右)をご覧ください。

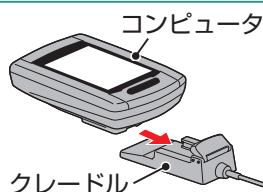
※ バッテリー残量が少ない場合は、以下の方法で充電してください。




## 充電方法

### 1 コンピュータをクレードルにセットします

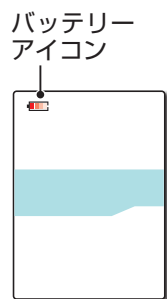
**△注意** コンピュータが濡れた状態でクレードルにセットしないでください。  
接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。



### 2 USB プラグを PC または市販の USB 充電器に差込みます

充電が始まると画面は  (バッテリーアイコン) 表示のみになります。

アイコン	説明
	充電中
	充電完了



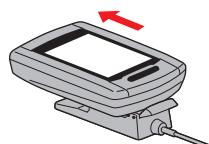
標準充電時間  
約5時間

- ※ コンピュータと PC を接続する場合、PC がスリープ状態では充電できません。
- ※ USB 1.0 の場合、充電に時間がかかります。
- ※ 充電開始後、約 90 分で 80% 程度の充電が完了します。
- ※ 標準充電時間は目安であり、使用時の環境により変化する場合があります。
- ※ 満充電で約 10 時間使用できます。(待機電流により充電後、時間が経過すると使用時間は短くなります。)

### 3 充電完了後、コンピュータを外します

PC または USB 充電器から USB プラグを抜き取り、クレードルからコンピュータを外します。

※ 取外す際は、クレードル本体を持ちながらコンピュータに手を添えて押出してください。



# コンピュータのセットアップ

はじめて使用するときや工場出荷時に戻す場合は、以下の手順でフォーマット操作を行います。

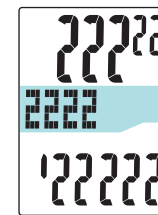
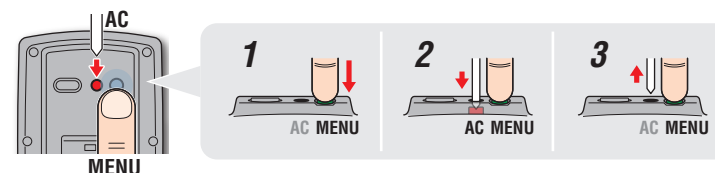
**△注意** すべてのデータを消去して、工場出荷状態に戻ります。

※ セットアップ中、入力を誤ったり、センサーとのペアリング (\*1) に失敗しても、そのままセットアップを完了してください。設定完了後に専用アプリ「CATEYE Sync™」やコンピュータのメニュー画面から修正することができます。詳しくは「コンピュータの設定変更」(30 ページ)をご覧ください。

\*1: ペアリングはコンピュータのメニュー画面でのみ行えます。  
詳しくは、メニュー画面「ペアリング」(36 ページ)をご覧ください。

### 1 フォーマット (初期化) します

コンピュータ裏面の MENU ボタンを押しながら AC ボタンを押します。画面にテストパターンを表示したら MENU を離します。



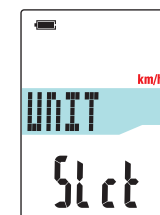
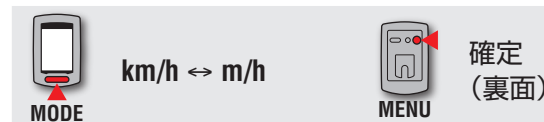
※ 画面にテストパターンを表示せずに、全点灯した場合はフォーマット操作が正しく行われていません。再度、フォーマット操作を行ってください。

ビデオを見る  
(YouTube)

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーを再生します。

### 2 計測単位を選択します

「km/h」または「m/h」を選択してください。



### 3 ペアリング（センサー ID 照合）

#### ANT+ センサーをお持ちでない場合：

ペアリングは不要です。MENU を 5 回押して、手順 5 「タイムゾーンを選択します」（11 ページ）に進んでください。

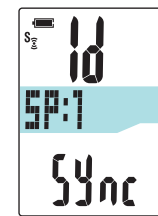
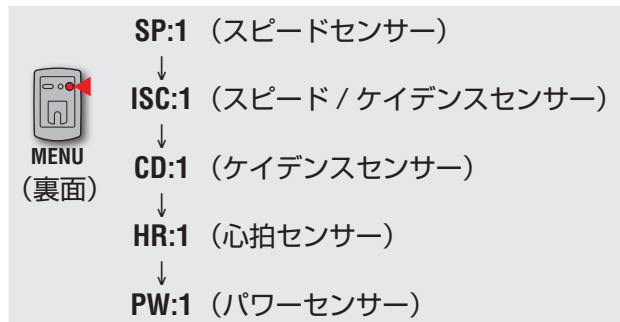
#### ANT+ センサーをお持ちの場合：

コンピュータが各センサーを認識するには、各センサーのセンサー ID を登録（ペアリング）する必要があります。  
以下の手順に従いコンピュータとお持ちの ANT+ センサーをペアリングしてください。

本器のペアリングには以下の 2 つの方法があります。

照合方法	説明
自動照合	センサーが発信する信号をコンピュータが受信してペアリングを完了させます。 ※ 一般的にはこの方法でペアリングを実施してください。
ID 番号の手入力	センサーの ID 番号がわかっている場合は、その番号を入力してペアリングすることができます。 ※ レース会場など複数の ANT+ センサーが存在して、自動照合ができない場合などにご利用いただけます。

- 画面にペアリングするセンサーを表示します  
MENU を押すごとにペアリングさせるセンサーを切替えます。  
お持ちのセンサーを表示してください。



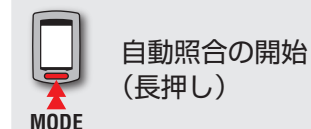
- ※ セットアップでは図の順でセンサーのペアリングを行います。万一、ペアリングに失敗またはスキップしても、そのままセットアップを完了してください。設定は後から変更することができます。詳しくはメニュー画面「ペアリング」（36 ページ）をご覧ください。
- ※ 初期設定では「SP:1」または「ISC:1」のどちらか一方とペアリングできます。
  - 「SP:1」（スピードセンサー）をペアリングすると、「ISC:1」（スピード/ケイデンスセンサー）の表示はスキップします。
  - 「ISC:1」（スピード/ケイデンスセンサー）をペアリングすると、「CD:1」（ケイデンスセンサー）の表示はスキップします。



## ② ペアリングを開始します

### 自動照合の場合

**MODE** を長押しすると画面下段の表示が切替り、自動照合を開始します。



※ 近くに他の ANT+ センサーがある場合は、照合するセンサーの信号を発信させてから **MODE** を長押ししてください。目的のセンサーとペアリングしやすくなります。

自動照合画面の間にセンサー信号を発信させてください。画面に ID 番号を表示します。

※ ID 番号はセンサー固有の番号ですのでひかえておくと便利です。

※ 各センサーは以下の動作でセンサー信号を発信します。

センサーの種類	方法
SP スピードセンサー	
ISC	速度/ケイデンスセンサー ※ CATEYE 製速度/ケイデンスセンサー (ISC-11) の場合は [ISC] を選択してペアリングを行います。
CD ケイデンスセンサー	マグネットをセンサーゾーンに数回近づける (間隔 3 mm 以内)
HR 心拍センサー	心拍センサーを装着する
PW パワーセンサー	自転車に乗って軽く走行する

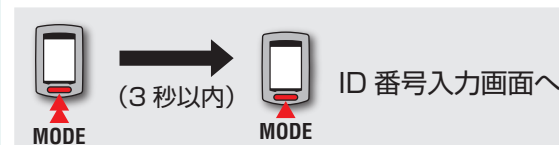
※ コンピュータは、自動照合開始後、5 分間待受状態になります。この間にセンサーの信号を発信してください。

※ センサー信号の待受中に **MODE** を長押しすると自動照合をキャンセルできます。なお、待受時間内にセンサー信号を受信できない場合は強制的にキャンセルとなります。



### ID 番号の手入力の場合

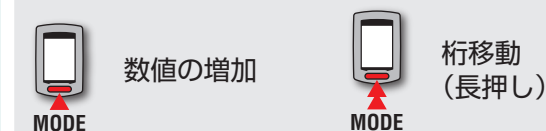
**MODE** を長押しして自動照合を開始した後、3 秒以内に **MODE** を押しします。ID 手入力画面に切替ります。



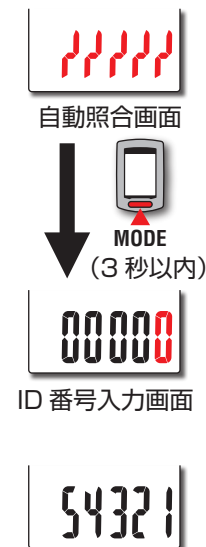
※ 3 秒以上経過すると自動照合に移行しますのでご注意ください。

**MODE** で数値を入力して、長押しで桁移動します。

設定範囲：00001 ~ 65535



引続き、手順 ③ に進んでください。



- ③ ID 番号を確認して MENU を押します  
センサーのペアリングを確定します。



- ④ 同じ手順で、他のセンサーのペアリングを行います

## 4 タイヤ周長を入力します

スピード計測可能な ANT+ センサーのペアリングをスキップした場合  
「タイヤ周長入力」の設定はスキップします。



手順 5 「タイムゾーンを選択します」(11 ページ) に進んでください。

スピード計測可能な ANT+ センサーのペアリングを行った場合  
以下の手順に従いセンサー装着側のタイヤ周長 (タイヤの外周長さ) を  
mm 単位で入力します。

MODE で数値を入力して、長押しで桁移動します。

設定範囲：0100 ~ 3999 mm



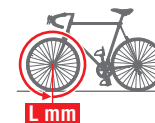
- ※ スピード信号を発信可能なパワーセンサーのタイヤ周長について  
ペアリング時にスピードセンサーまたはスピード/ケイデンスセンサーを  
スキップした場合は、パワーセンサーのタイヤ周長に 2096 mm を適用します。  
この値はセットアップ完了後に「タイヤ設定」(CATEYE Sync™ の場合：  
30 ページ、コンピュータ単体の場合：35 ページ) で変更できます。
- ※ タイヤ周長の求め方については「タイヤ周長について」(本ページ右) を  
ご覧ください。

## タイヤ周長について

タイヤ周長は、以下のタイヤ周長ガイドから、自転車のタイヤサイズを基に周  
長 (L) を見つける方法と、自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める方法があ  
ります。

### 自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める

タイヤの空気圧を適正にし、荷重をかけた状態で、  
バルブなどの目印になるものを基準にしてタイヤを  
1 回転させ、路面の寸法を測ります。



または



※ センサーを装着する側のタイヤを測ります。

### タイヤ周長ガイド

※ ETRTO やタイヤサイズはタイヤの側面に記載しています。

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)	ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)	ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935	28-540	24x1-1/8	1795	37-630	27x1-3/8	2169
54-203	12x1.95	940	32-540	24x1-1/4	1905	40-584	27.5x1.50	2079
40-254	14x1.50	1020	25-559	26x1 (559)	1913	50-584	27.5x1.95	2090
47-254	14x1.75	1055	32-559	26x1.25	1950	54-484	27.5x2.10	2148
40-305	16x1.50	1185	37-559	26x1.40	2005	57-584	27.5x2.25	2182
47-305	16x1.75	1195	40-559	26x1.50	2010	18-622	700x18C	2070
54-305	16x2.00	1245	47-559	26x1.75	2023	19-622	700x19C	2080
28-349	16x1-1/8	1290	50-559	26x1.95	2050	20-622	700x20C	2086
37-349	16x1-3/8	1300	54-559	26x2.10	2068	<b>23-622</b>	<b>700x23C</b>	<b>2096</b>
32-369	17x1-1/4(369)	1340	57-559	26x2.125	2070	25-622	700x25C	2105
40-355	18x1.50	1340	58-559	26x2.35	2083	28-622	700x28C	2136
47-355	18x1.75	1350	75-559	26x3.00	2170	30-622	700x30C	2146
32-406	20x1.25	1450	28-590	26x1-1/8	1970	32-622	700x32C	2155
35-406	20x1.35	1460	37-590	26x1-3/8	2068		700C Tubular	2130
40-406	20x1.50	1490	37-584	26x1-1/2	2100	35-622	700x35C	2168
47-406	20x1.75	1515		650C Tubular 26x7/8	1920	38-622	700x38C	2180
50-406	20x1.95	1565	20-571	650x20C	1938	40-622	700x40C	2200
28-451	20x1-1/8	1545	23-571	650x23C	1944	42-622	700x42C	2224
37-451	20x1-3/8	1615		650x25C 26x1(571)	1952	44-622	700x44C	2235
37-501	22x1-3/8	1770	25-571			45-622	700x45C	2242
40-501	22x1-1/2	1785				47-622	700x47C	2268
47-507	24x1.75	1890	40-590	650x38A	2125	54-622	29x2.1	2288
50-507	24x2.00	1925	40-584	650x38B	2105	56-622	29x2.2	2298
54-507	24x2.125	1965	25-630	27x1(630)	2145	60-622	29x2.3	2326
25-520	24x1(520)	1753	28-630	27x1-1/8	2155			
	24x3/4 Tubular	1785	32-630	27x1-1/4	2161			

## 5 タイムゾーンを選択します

下表「タイムゾーン一覧」を参考に現在地から最も近い都市コードを選択してください。

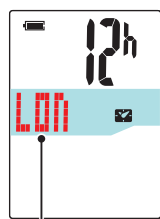


MODE

表示切替



MODE

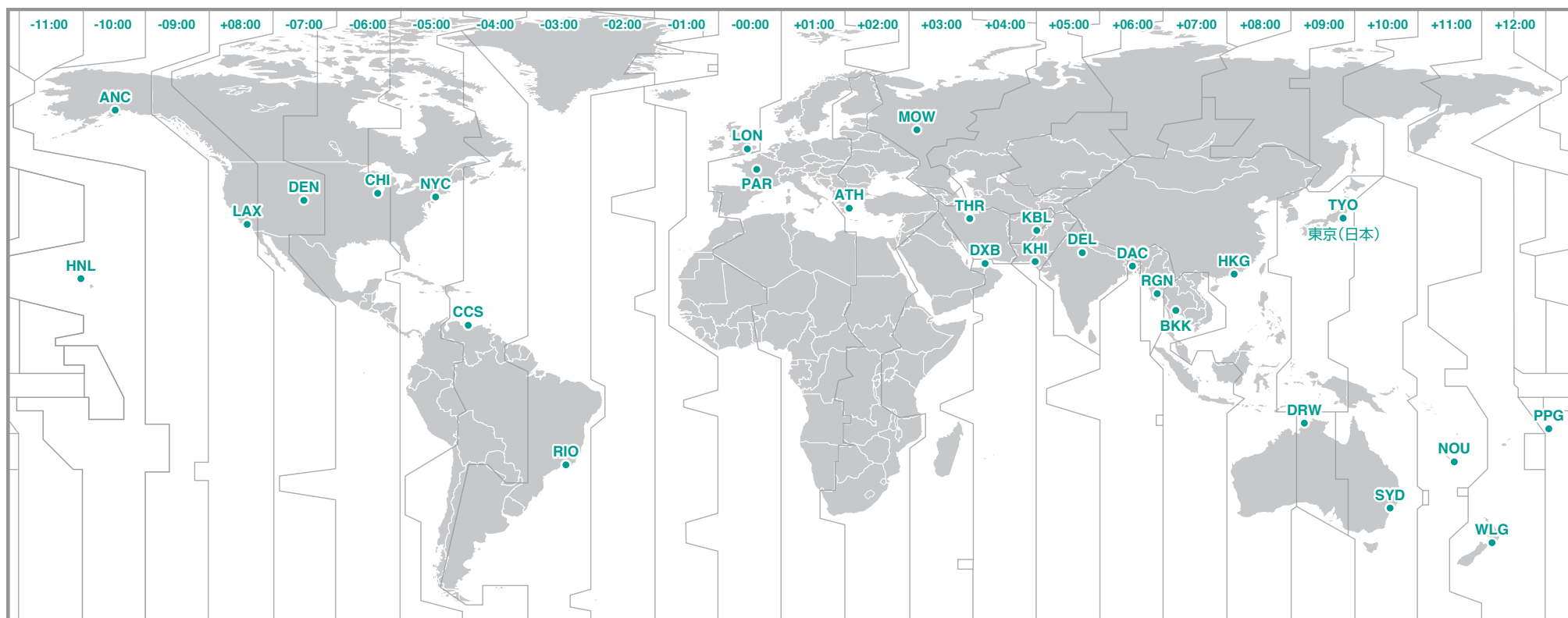
確定  
(長押し)

都市コード

### タイムゾーン一覧

都市コード	都市名	時差
LON	ロンドン	0
PAR	パリ	+1
ATH	アテネ	+2
MOW	モスクワ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9

都市コード	都市名	時差
DRW	ダーウィン	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレッジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3



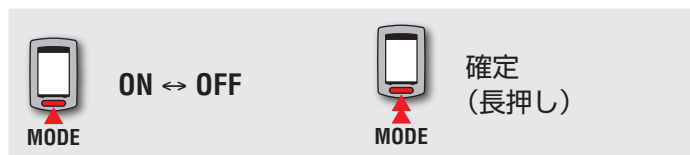
## 6 サマータイム (Daylight saving time) を選択します

※現在、日本ではサマータイムを導入していません。  
日本国内での使用では OFF を選択してください。

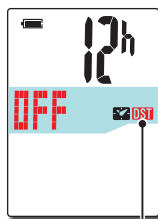
サマータイムを導入している地域の場合は、季節に応じて設定することができます。

ON または OFF を選択してください。

設定	説明
ON	通常の時刻から 1 時間進みます。
OFF	通常の時刻を表示します。



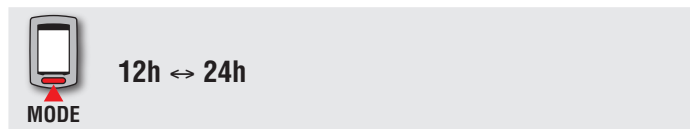
※ サマータイムの期間に合わせ、ON/OFF を切替えてください。



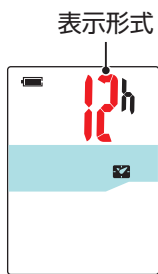
サマータイム  
アイコン

## 7 時刻の表示形式を選択します

「12h」(12 時間表示) または 「24h」(24 時間表示) のいずれかの表示形式を選択してください。

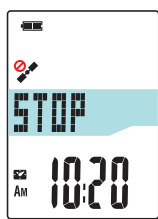


※ 日付・時刻は GPS 信号から取得するため入力不要です。



## 8 MENU を押して設定を完了します

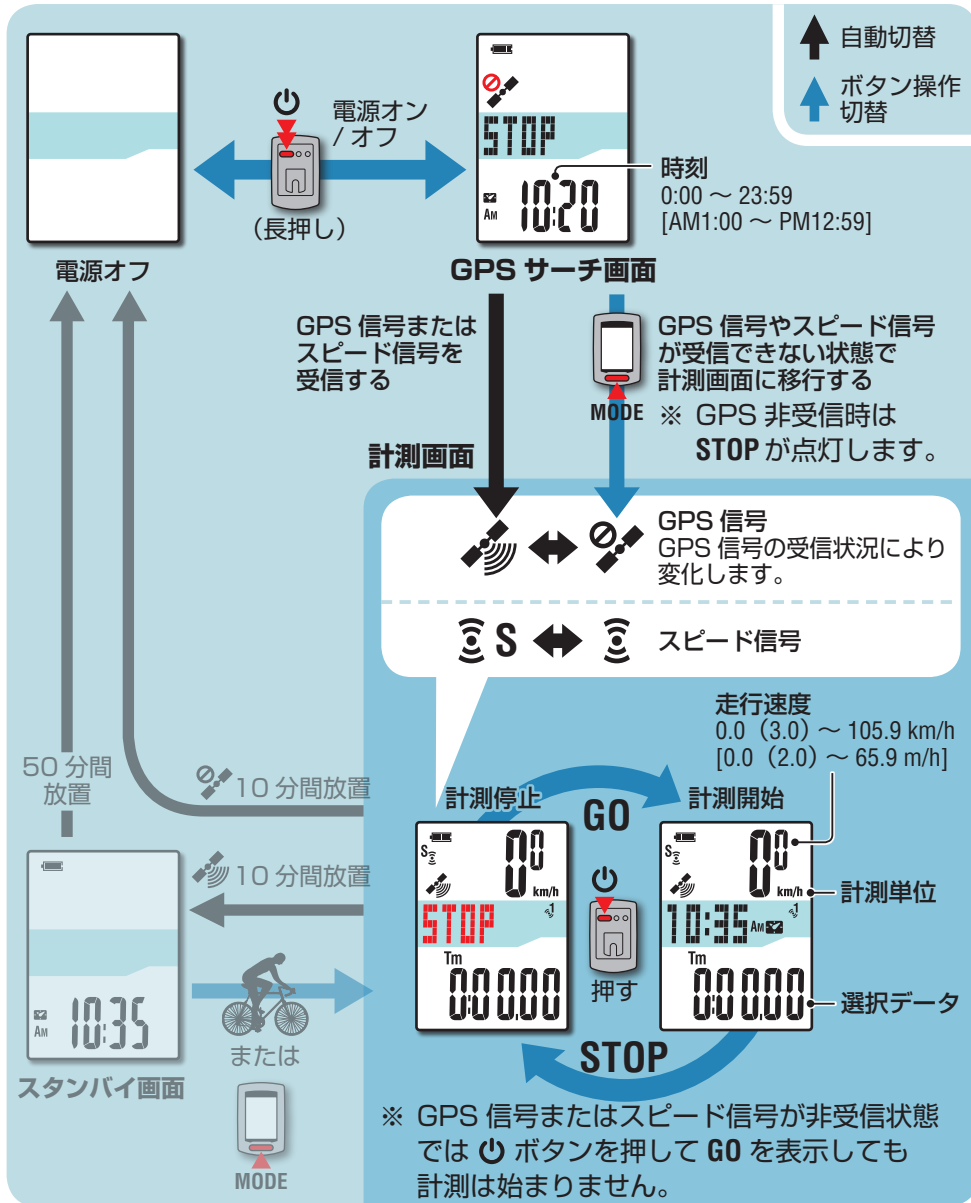
セットアップが完了し、GPS サーチ画面に切替ります。



以上で、コンピュータのセットアップは完了です。  
使用方法については「画面の流れ」(13 ページ) をご覧ください。

# 画面の流れ

本器には GPS サーチ画面・計測画面・スタンバイ画面の 3 つの画面があり、GPS 信号やスピード信号の受信状況、自転車の動作状況に応じて表示が切替ります。ここでは電源をオンにして計測を行うまでの画面の流れを説明します。



## GPS サーチ画面 (電源投入時)

電源を入れると GPS サーチ画面を表示し、GPS のサーチを開始します。GPS 信号やスピード信号の受信状況により、以下のように動きが異なります。

受信状態	働き
GPS 信号またはスピード信号を受信した場合	計測画面に切替ります。 受信状況により、GPS 信号受信アイコン (📶)、スピード信号アイコン (🚗 S) を表示します。
GPS 信号やスピード信号を受信できない場合	MODE を押していずれの信号も非受信のまま計測画面に切替えることができます。

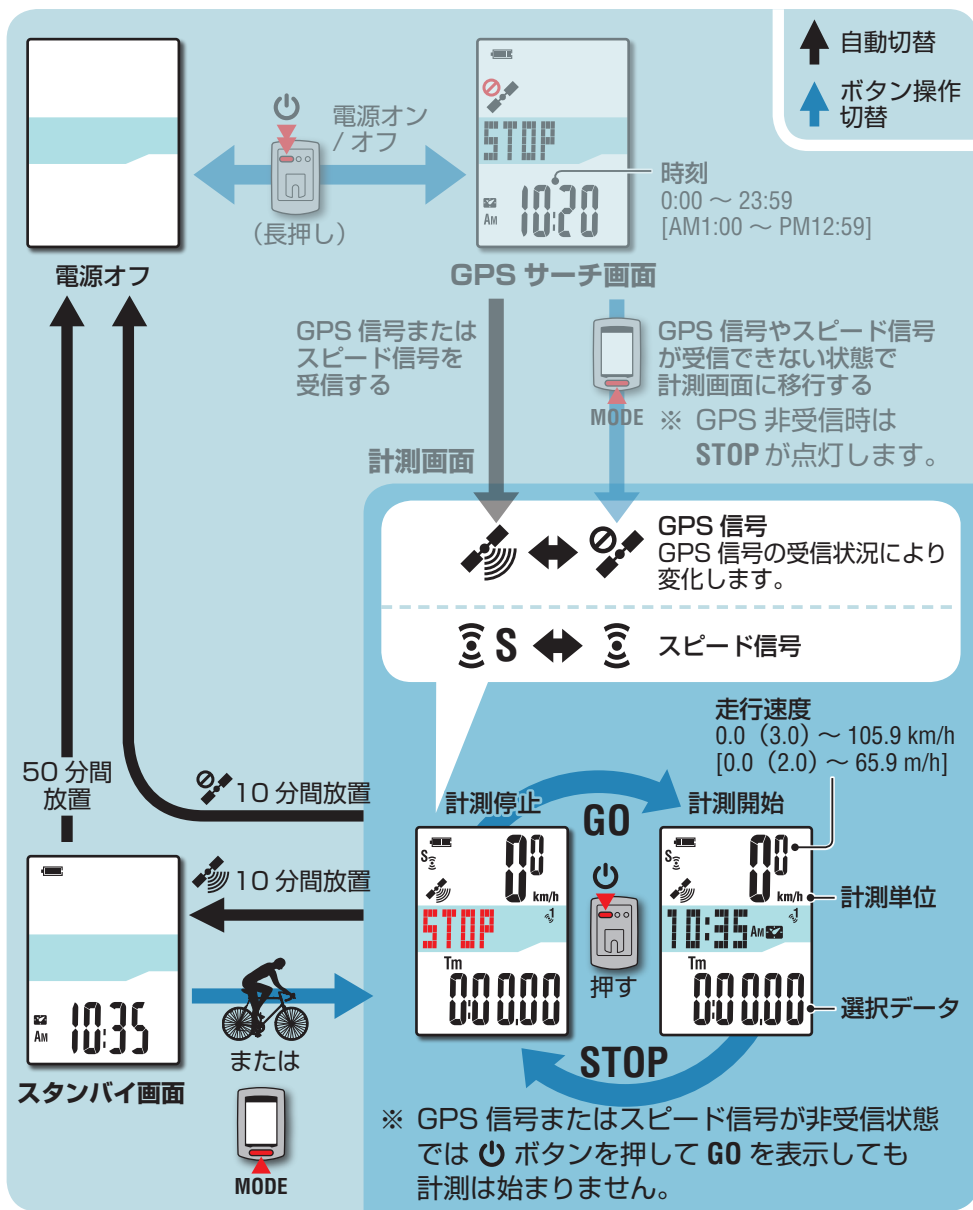
※ 受信状況によっては信号の受信に数分かかる場合があります。

## 計測画面

本器の基本画面です。計測画面には以下の状態があります。

画面中段表示	GPS 信号	スピード信号	内容
	(点滅)	(S 消灯)	この状態では走行しても計測できませんが、計測データの確認とリセット操作のみ可能です。 ※ 速度を計測する信号がありません。ボタンも押さない状態で 10 分間経過すると自動的に電源がオフになります。(オートパワーオフ)
	(点滅)	(点滅)	STOP 表示中は計測を停止した状態です。本器は 電源ボタンを押すことで計測を開始したり、一時的に停止 (STOP 表示) することができます。
	(点滅)	(S 消灯)	
	(点滅)	(点滅)	





## スタンバイ画面

計測画面で GPS 信号またはスピード信号を受信している状態に自転車の動きやボタン操作がないまま 10 分間経過すると、自動的にスタンバイ画面に切替ります。再び動き出すと計測画面に戻ります。

※ スタンバイ画面のまま 50 分間経過すると自動的に電源がオフになります。(オートパワーオフ)

※ スタンバイ画面で GPS 信号を受信できなくなった場合は、GPS 信号非受信アイコン ( ) を点滅します。この場合、スピード信号を受信できない状態では自転車が動き出しても計測画面には戻りません。

# 計測画面の機能

## 計測のスタート/ストップ

本器は GPS と ANT+ 信号受信機を搭載したサイクロコンピュータです。

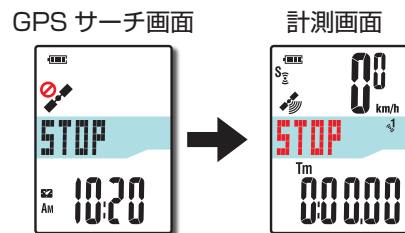
**注意** 以下の計測には GPS 信号が受信できる環境が必要です。

- ・ 海拔高度の表示やルート情報を記録する
- ・ ANT+ センサーを使用せずに計測する

※ 各画面の説明は「画面の流れ」(13 ページ) をご覧ください。

### 1 電源ボタンを2秒間長押しします

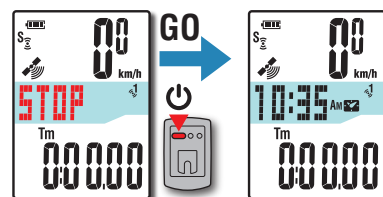
電源が入り GPS サーチ画面が表示します。そのまま GPS 信号を受信するまで数分間待ちます。GPS 信号やスピード信号を受信すると GPS サーチ画面から計測画面に切り替わります。



### 2 GPS 受信アイコン (📶) の点灯を確認して電源ボタンを押します

計測画面の「STOP」が「GO」に変わり計測を開始します。

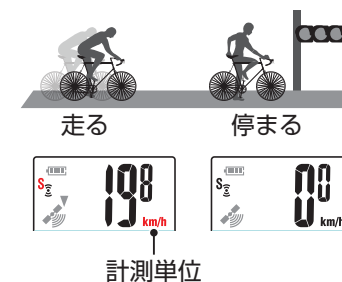
※ スピード計測可能な ANT+ センサーを使用している場合は GPS 信号非受信アイコン (📶) の状態でも計測を行えますが、GPS 信号から得られる海拔高度の表示、ルート情報の記録はできません。海拔高度の表示、ルート情報の記録は GPS 信号を受信した時点から開始します。



### 3 走行を開始します

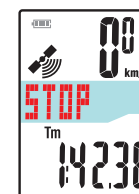
計測中は、自転車の動きに合わせて自動的に計測をスタート/ストップします。

- ※ 計測中は計測単位が点滅します。
- ※ スピード信号受信中はスピード信号アイコン (📶S) が点滅します。



### 4 電源ボタンを押して計測を終了します

計測画面に「STOP」を表示して計測を停止します。計測終了後は、MODE を長押し (リセット操作) して計測データを 0 に戻し、それまでのトリップデータを生成します。



※ 本器は電源オン/オフに関わらず、計測開始からリセット操作するまでを1つのトリップデータとして記録します。引続き、計測を継続する場合はリセット操作せずに電源をオフにします。詳しくは「計測データのリセット・トリップデータの生成」(18 ページ) をご覧ください。

※ トリップデータのアップロードについては「計測データ (トリップデータ) のアップロード」(22 ページ) をご覧ください。

### 5 電源ボタンを2秒間長押しします

電源がオフになります。

※ 計測を停止せずに電源オフにした場合は次回、電源を入れた際に計測状態で起動します。

以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値を得られない場合があります。

- ・ トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など
- ・ 悪天候 (雪や雨など)
- ・ 高圧電線や携帯電話の中継局の近く
- ・ コンピュータの画面が上空を向いていない



## 選択データの切替

MODE を押すと画面下段の計測データが図の順に切替ります。

※ 不要な選択データは非表示にすることができます。

詳しくは「ファンクション設定」(CATEYESync™ の場合：30 ページ、コンピュータ単体の場合：38 ページ) をご覧ください。



**Tm**  
走行時間  
0:00' 00" ~ 9:59' 59"

**Dst**  
走行距離  
0.00 ~ 999.99 km  
[mile]

**Dst2**  
走行距離 2  
0.00 ~ 999.99 /  
1000.0 ~ 9999.9 km [mile]

心拍数 (\*1)  
0 (30) ~ 199 bpm

ケイデンス (\*1)  
0 (20) ~ 199 rpm

**時刻**  
画面中段に海拔高度を表示、  
またはパワー信号を受信すると時刻画面を追加表示します。  
0:00 ~ 23:59  
[AM 1:00 ~ PM 12:59]



**Odo**  
積算距離  
0.0 ~ 9999.9 /  
10000 ~ 99999 km [mile]

**ALT**  
海拔高度  
-500 ~ 9999 m  
[-1640 ~ 29600 ft]

**MAX**  
最高速度  
0.0 (3.0) ~ 105.9 km/h  
[0.0 (2.0) ~ 65.9 m/h]



**パワーバランス**

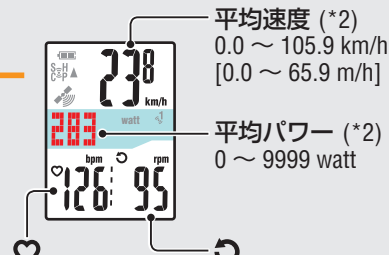
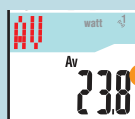
左右独立型パワーセンサーを使用するとパワーバランス画面を追加表示します。

左側  
0 ~ 100%

右側  
0 ~ 100%

**平均値 / 最大値**

- 心拍・ケイデンスセンサーをペアリングしている場合は各平均値と最大値を表示します。
- パワー信号を受信すると AV アイコンと平均パワー値、MAX アイコンと最高パワー値を交互表示します。

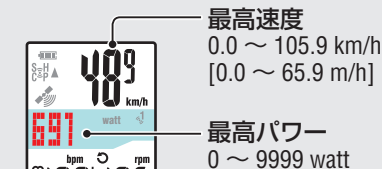


平均速度 (\*2)  
0.0 ~ 105.9 km/h  
[0.0 ~ 65.9 m/h]

平均パワー (\*2)  
0 ~ 9999 watt

平均心拍数 (\*1 \*2)  
0 ~ 199 bpm

平均ケイデンス (\*1 \*2)  
0 ~ 199 rpm



最高速度  
0.0 ~ 105.9 km/h  
[0.0 ~ 65.9 m/h]

最高パワー  
0 ~ 9999 watt

最高心拍数 (\*1)  
0 (30) ~ 199 bpm

最大ケイデンス (\*1)  
0 (20) ~ 199 rpm

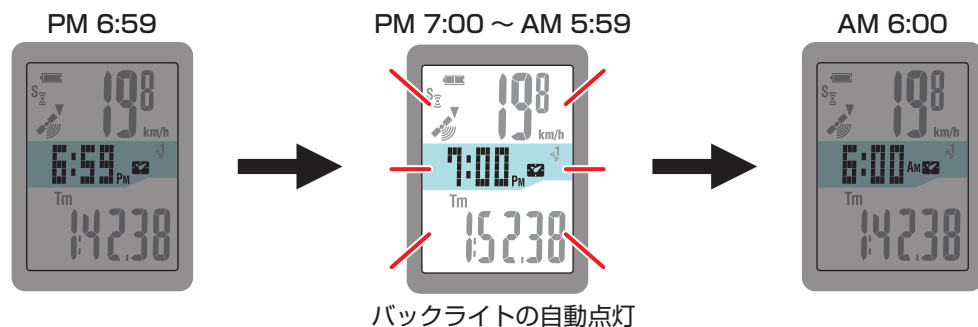
\*1: 心拍・ケイデンスセンサーをペアリングしていない場合は関連データは表示しません。

\*2: 各平均値は Tm 約 27 時間、または Dst 999.99 km を超えると ".E" を表示して計測をできません。データのリセットを行ってください。

## バックライト

夜間(ナイトタイム)に使用するときにはバックライトが常時点灯します。

例：ナイトタイムの設定時間：PM7:00～AM6:00

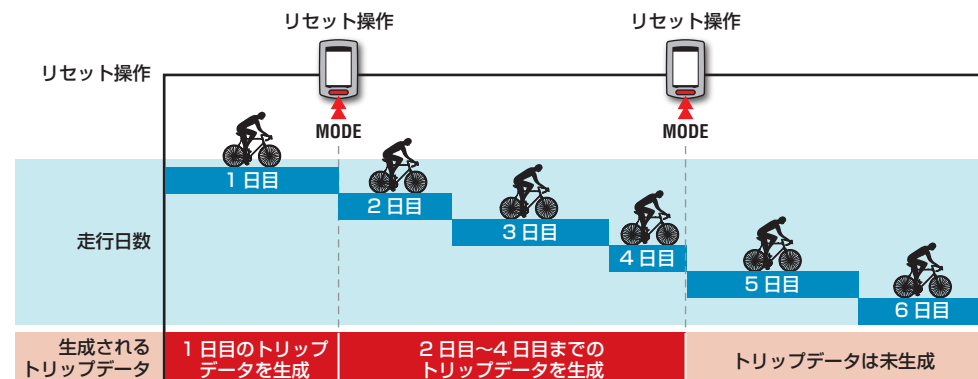


- ※ 夜間(ナイトタイム)の時間は自由に設定できます。詳しくは「ナイトタイム設定」(CATEYE Sync™の場合：30 ページ、コンピュータ単体の場合：38 ページ)をご覧ください。
- ※ 初期値は PM6:00～AM7:00 です。

## 計測データのリセット・トリップデータの生成

計測画面で **MODE** を押し続けると、計測データを 0 にリセットします (リセット操作)。この時点まで計測したデータをトリップデータとして生成します。

トリップデータは専用アプリ「CATEYE Sync™」を経由して専用サイト「CATEYE Atlas™」にアップロードすることで、計測結果を確認すると共に走行記録を蓄積することができます。

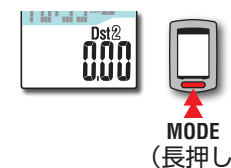


- ※ 計測途中で電源をオフにしてもリセット操作をしない限りトリップは継続します。
- ※ 走行距離 2 (Dst2) は個別でリセットするため 0 に戻りません。詳しくは、「走行距離 2 のリセット」(以下)をご覧ください。
- ※ 積算距離 (Odo) はリセットできません。
- ※ CATEYE Atlas™ へのアップロードについては「計測データ(トリップデータ)のアップロード」(22 ページ)をご覧ください。
- ※ コンピュータの記憶容量には上限があり、容量を超えると記憶できません。詳しくは「記録間隔と容量制限」(26 ページ)をご覧ください。

## 走行距離 2 のリセット

走行距離 2 (Dst2) を表示した状態で **MODE** を押し続けると、走行距離 2 だけを 0 にリセットできます。

- ※ 走行距離 2 (Dst2) の値はトリップデータとしては保存できません。

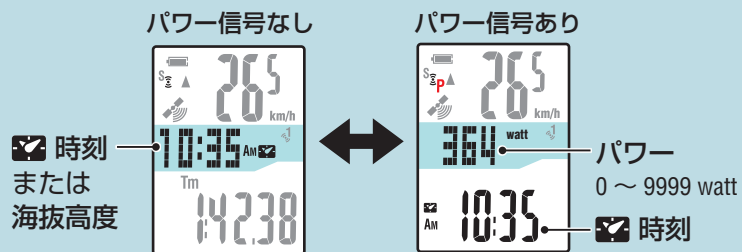


## パワー計測

ANT+ パワーセンサーをお持ちの場合に計測できます。

パワー信号を受信すると、計測画面の中段表示がパワーに切替ります。

※ 時刻は画面中段から画面下段の選択データに移動します。  
詳しくは「選択データの切替」(17 ページ) をご覧ください。



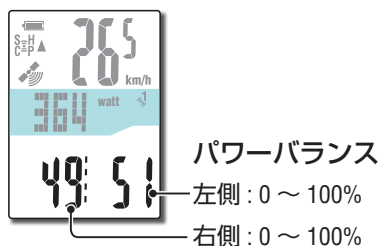
※ パワーセンサーによっては走行速度やケイデンスを計測できる場合があります。

## パワーバランス

左右独立型の ANT+ パワーセンサーをお持ちの場合に計測できます。

左右独立型パワーセンサーの信号を受信すると選択データにパワーバランスを追加します。

※ 左右識別がないパワーセンサーの場合はスキップします。  
※ パワーが0のときは「--」を表示します。




## パワーセンサーのキャリブレーション

パワーセンサーは使い続けると無負荷状態に若干のずれが生じてきます。定期的にキャリブレーションを実行して、補正を行ってください。特に重要な計測をする場合は、事前のキャリブレーションをお勧めします。

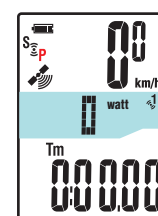
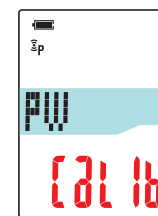
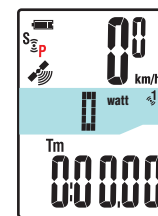
※ キャリブレーションを開始する前にパワーセンサーの取扱説明書をご覧ください。キャリブレーション時の注意事項をご確認ください。キャリブレーションに失敗すると正確なパワー計測は行えません。

### 1 計測画面の計測停止中に MENU を 4 秒間長押しします

**注意** 必ずパワーセンサー装着部品 (クランクなど) に力をかけていない状態で行ってください。

 キャリブレーション画面へ (4 秒間長押し)

画面に CALIB を点滅してキャリブレーションが始まります。



3 秒後、キャリブレーションが完了して元の計測画面に戻ります。

# PC のセットアップ

はじめに専用サイト CATEYE Atlas™ にアクセスして会員登録を行います。その後、PC (Windows/Mac) に CATEYE Sync™ をインストールしてください。本器で計測したトリップデータを CATEYE Atlas™ や STRAVA™、TrainingPeaks™ などにアップロードしたり、コンピュータの設定を PC から変更することが可能になります。

**注意** CATEYE Atlas™ へのアクセスや CATEYE Sync™ のダウンロードはインターネット接続環境のある PC で行ってください。

## CATEYE Atlas™ の会員登録

- キャットアイ INOU をご使用で、既に会員登録している場合は、同じアカウントを使用できます。
- 本器で取得したトリップデータを STRAVA™ や TrainingPeaks™ だけにアップロードする場合、CATEYE Atlas™ の会員登録は必要ありません。CATEYE Sync™ をインストールして「トリップデータをアップロードする」(22 ページ) をご覧ください。

### 1 CATEYE Atlas™ にアクセスします

ブラウザで Web サイト「CATEYE Atlas™」(<http://www.cateyeatlas.com>) にアクセスします。



### 2 [新規会員登録] をクリックします

画面の手順に従って仮会員登録を行います。登録後、CATEYE Atlas™ よりメールが届きます。指定の URL にアクセスして本会員登録を行ってください。

※ 会員登録は無料です。

※ 入力必須事項のメールアドレス、パスワード、生年月日はメモして大切に保管してください。



### 3 [ログインはこちら] をクリックします

### 4 メールアドレス、パスワードを入力して [ログイン] をクリックします

登録したメールアドレス、パスワードを正しく入力して、ログインします。

※ 引き続き「CATEYE Sync™ をインストールする」(本ページ右) をご覧ください。

## CATEYE Sync™ をインストールする

### CATEYE Sync™ の動作環境

OS	Windows XP (32 bit)、Vista / 7 / 8 (32 bit / 64 bit) ※ .NET Framework 3.5 が必要です。 Mac OS 10.6 以降
メモリ	各 OS の推奨環境
HDD	必要な空き容量 64 MB 以上
ブラウザ	Internet Explorer 7 以降、Safari 4.0 以降、Firefox、 Google Chrome 5.0 以降

### CATEYE Sync™ のインストール方法

#### 1 [CATEYE Sync 今すぐダウンロード] をクリックします

画面の手順に従ってファイルをダウンロードします。



#### 2 ダウンロードしたファイルから実行ファイルをダブルクリックします

OS	実行ファイル
Windows の場合	[setup.exe]
Mac の場合	[CATEYESyncSetUp.pkg]

※ Windows Vista / 7 / 8 のプログラムの実行には、管理者権限が必要です。

#### 3 画面に従ってインストールを実行します

インストールが完了すると CATEYE Sync™ が起動します。

※ 引き続き「CATEYE Sync™ を設定する」(21 ページ) をご覧ください。

## CATEYE Sync™ を設定する

CATEYE Sync™ のインストール後、CATEYE Atlas™ のログイン設定を行います。

※ トリップデータを STRAVA™ や TrainingPeaks™ だけにアップロードする場合は、以下の設定は必要ありません。

### 1 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの [CATEYE Sync™] をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

### 2 [各種設定] をクリックします

各種設定画面を表示します。



### 3 [ログイン設定] をクリックしてメールアドレス、パスワードを入力します

CATEYE Atlas™ の会員登録で入力したメールアドレスとパスワードを正しく入力します。



### 4 [設定] をクリックします

CATEYE Sync™ のログイン設定が完了します。

以上で PC のセットアップは完了です。

- ※ トリップデータのアップロード方法については「計測データ (トリップデータ) のアップロード」(22 ページ) をご覧ください。
- ※ CATEYE Sync™ では、「コンピュータのセットアップ」(7 ページ) で行った各設定項目をコンピュータに同期することができます。(ペアリングを除く) 詳しくは「コンピュータの設定変更」(30 ページ) をご覧ください。
- ※ キャットアイ INOU をご使用の場合は、[INOUE] をクリックして INOU Sync を起動します。新たにキャットアイ INOU をご使用になる場合は、別途 CATEYE Sync™ INOU 用を CATEYE Atlas™ からダウンロード、インストールしてください。

# 計測データ(トリップデータ)のアップロード

リセット操作で生成したトリップデータは以下の手順で CATEYE Atlas™ や他のサービス (STRAVA™ など) にアップロードできます。

※ トリップデータはこまめに PC に取込んでください。データを貯めすぎると取込みに時間がかかったり、取込みエラーを起こす場合があります。

## トリップデータをアップロードする

コンピュータのトリップデータを PC に保存し、任意のトリップデータを CATEYE Atlas™、STRAVA™、TraingPeaks™ にアップロードします。

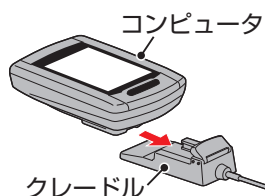
※ リセット操作していないトリップデータは CATEYE Sync™ から認識できません。クレードルにセットする前にコンピュータをリセット操作してください。

ビデオを見る  
(YouTube)


ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーを再生します。

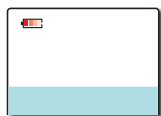
### 1 コンピュータをクレードルにセットします

**注意** コンピュータが濡れた状態でクレードルにセットしないでください。接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。



### 2 USB プラグを PC に差込みます

画面は  (バッテリーアイコン) 表示のみになります。



### 3 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの [CATEYE Sync™] をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

### 4 モデルで [ステルス] を選択していることを確認して [データ取り込み / データー一覧] をクリックします

トリップデータをコンピュータから PC に転送して、データー一覧画面を表示します。

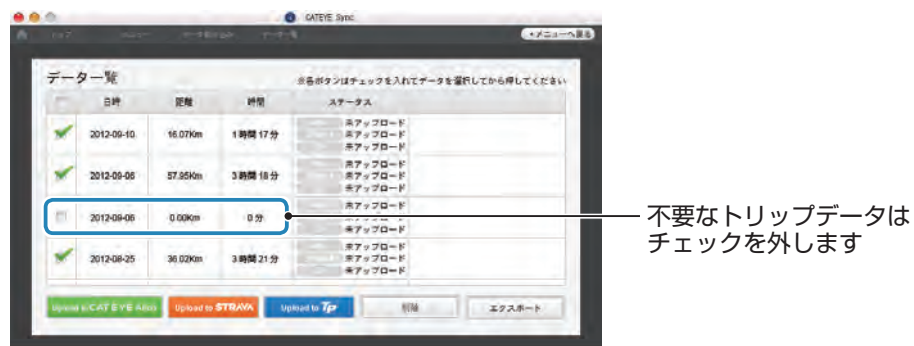


※ 正常に転送したトリップデータは、コンピュータから消去します。  
※ リセット操作を行っていない計測途中のデータは読込めません。

- 5 アップロードしたいトリップデータにチェックが付いていることを確認して、任意のアップロードボタンをクリックします  
 転送したトリップデータはチェックが付いた状態でデータ一覧に表示します。



不要なトリップデータはチェックを外して、アップロードしたいサービスサイトのアップロードボタンをクリックします。



アップロードボタン	トリップデータのアップロード先
	CATEYE Atlas™
	STRAVA™
	TraingPeaks™

※ STRAVA™ や TraingPeaks™ にアップロードする場合は、各サイトのアカウントが必要です。また、はじめてアップロードする際はサイトの認証が必要となります。アップロードボタンをクリックした後、画面の指示に従い、サイトが発行する認証コードを入力してください。

※ トリップデータの容量や回線状態によってはアップロードに時間がかかる場合があります。

アップロードが完了すると、[ステータス] 欄にアップロードしたサイトとリンク (URL) を表示します。



※ リンクの URL をクリックするとブラウザが起動して、アップロードしたトリップを確認できます。

## ワンボタンアップロード

[ワンボタンアップロード] をクリックすると、トリップデータの取込みからサービスサイトのアップロードまでをワンボタンで行います。このときトリップデータは前回アップロードしたサービスサイトにアップロードします。



※ アップロード先はワンボタンアップロードのボタン色で確認できます。  
 (緑：CATEYE Atlas™、橙：STRAVA™、青：TraingPeaks™)

※ 任意のトリップデータだけをアップロードする、または前回と異なるサービスサイトにアップロードする場合は [データ取り込み / データ一覧] ボタンからアップロードしてください。詳しくは「トリップデータをアップロードする」手順 6 (本ページ左) をご覧ください。

## トリップデータのエクスポート

CATEYE Sync™ に保存しているトリップデータは、エクスポートしてファイルを作成することができます。

- 1 データー一覧画面から任意のトリップデータにチェックを付けて [エクスポート] をクリックします  
ファイル形式選択ダイアログを表示します。



※ 複数のトリップデータにチェックを付けると一度にファイルを書出すことができます。

- 2 書出すファイル形式をクリックします



ファイル形式	説明
CATEYEsync (.ces)	CATEYE Sync™ に読み可能なファイル ※ PC の買替えなど、これまでのトリップデータを新しい PC に移動する場合などに活用ください。
.gpx	汎用的な GPS データファイル ※ Google Earth™ などに読み活用ください。
.fit	STRAVA™ や TrainingPeaks™ に読み可能なファイル

保存先選択ウィンドウを表示します。

- 3 任意の保存先を選び [選択] をクリックします  
指定した場所にファイルを書出します。





## e-Train Data™ などのデータを CATEYE Sync™ にインポートする

e-Train Data™ に読み込まれた計測データを CATEYE Sync™ にインポートすることで、CATEYE Atlas™ や他のサービス (STRAVA™ など) で活用できます。

### 1 e-Train Data™ から計測データをエクスポートしてファイルを準備します

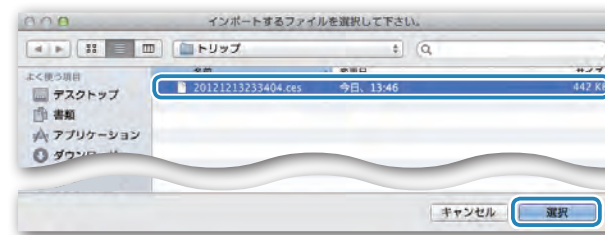
※ e-Train Data™ のエクスポート方法については、e-Train Data™ 取扱説明書をご覧ください。

### 2 トップ画面から [インポート] をクリックします

ファイル選択ウィンドウを表示します。



### 3 読み込みたいファイルを選択して [選択] をクリックします



読み込み可能なファイル	説明
.etd	e-Train Data™ Ver.3/4 ファイル
.csv	e-Train Data™ Ver.2 ファイル (※)
.ces	CATEYE Sync ファイル

※ 他の PC でエクスポートした CATEYE Sync ファイルも読み込むことができます。

※ e-Train Data™ Ver.2 以外で作成した CSV ファイルはインポートできません。

データ一覧画面を表示して、選択したファイルをデータ一覧に追加します。

## トリップデータについて

### トリップデータに含まれるデータ

日付・時刻（計測がスタートした日付・時刻）

走行時間

指定した記録間隔で記録されるデータ

- 位置情報
- 走行距離
- 海拔高度
- 走行速度
- ケイデンス (\*1)
- 心拍数 (\*1)
- パワー (\*1)

\*1：ANT+ 対応の各センサーをご使用の場合に計測します。

### 記録間隔と容量制限

本器は設定した一定の間隔でデータを記録します。記録間隔は、1 秒・2 秒・5 秒から選択でき、用途に合わせて変更できます。（初期値：1 秒）

最大記録時間および 1 トリップの最大時間は、選択した記録間隔により以下のように変化します。

記録間隔	最大記録時間 (全トリップデータの合計時間)	1 トリップの最大時間	最大トリップ数
1 秒	35 時間	12 時間	250 トリップ
2 秒	70 時間	24 時間	
5 秒	175 時間	60 時間	

※ 上記の記録時間およびトリップ数は目安であり、使用状況などにより異なります。

※ 記録間隔の設定については「記録間隔設定」（CATEYE Sync™ の場合：30 ページ、コンピュータ単体の場合：38 ページ）をご覧ください。

※ 上表のいずれかの条件を超えると画面に **MEM FULL** を点滅表示して、以降の記録ができなくなります。トリップデータを CATEYE Sync™ に移動して、コンピュータの記憶容量を確保してください。1 トリップの最大時間を超えた場合のみ、リセット操作（18 ページ）することで別トリップとして計測を開始できます。

## トリップを確認・編集・公開する (CATEYE Atlas™ でできること)

CATEYE Atlas™ にアップロードしたトリップデータはトリップ情報を編集して、公開設定することで、トリップを友達や他のユーザーと共有することができます。

### 1 CATEYE Atlas™ にアクセスします

ブラウザで Web サイト「CATEYE Atlas™」 (<http://www.cateyeatlas.com>) にアクセスします。



### 2 [ログインはこちら] をクリックします

※ 会員登録がまだの場合は「CATEYE Atlas™ の会員登録」(20 ページ) をご覧ください。



### 3 メールアドレス、パスワードを入力して [ログイン] をクリックします

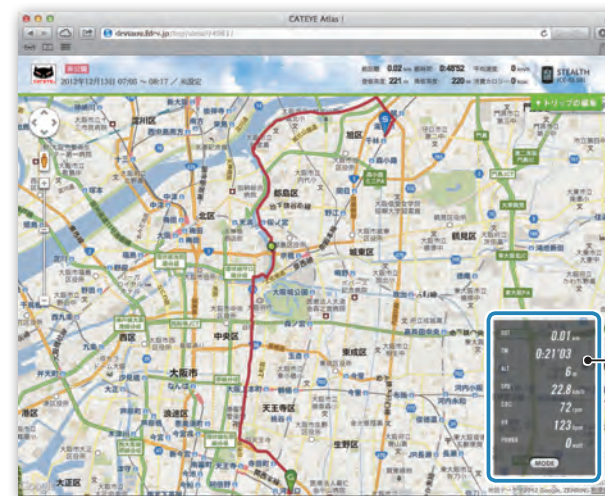
登録したメールアドレス、パスワードを正しく入力して、ログインします。  
[マイページ] を表示します。



※ マイページでは、これまでのトリップの確認や走行実績、一定期間の目標走行距離を設定することができます。

### 4 アップロードしたトリップをクリックします

走行ルートが描かれたマップとメーター (計測値) を表示します。



※ メーターの **MODE** をクリックすると、メーターの表示を切替えます。

### 5 マップ右上の [トリップの編集] をクリックします

トリップ情報の編集画面を表示します。  
トリップのタイトルや自転車、メモなどの情報を入力してください。



## 6 公開設定を選択します

公開設定を選択します。

- 非公開 : ご自身のアカウントでのみ見ることができます。
- 公開 : 全てのユーザーが見ることができます。
- フレンドのみ公開 : あなたのフレンドのみ見ることができます。



## 7 [この内容で保存する] をクリックします

以上でトリップ情報の編集は完了です。

## GPS ポイントを削除する

ルート上から特定の GPS ポイントを削除することができます。

- ① トリップ情報の編集画面から [GPS ポイントの削除] をクリックします  
マップ上にルートを表示します。



- ② 削除したいルート範囲の始点をクリックします  
カーソルの動きに合わせて範囲を表示します。
- ③ 削除したいルートに範囲が重なるように終点をクリックします  
確認メッセージを表示します。
- ④ [削除] をクリックします  
指定範囲の GPS ポイントを削除します。

## トリップを削除する

表示中のトリップを削除することができます。

- ① トリップ情報の編集画面から [トリップの削除] をクリックします



- ② [削除する] をクリックします

※ PC 上の CATEYE Sync™ のトリップデータに影響はありません。

※ 削除したトリップは CATEYE Sync™ から再度アップロードすることで戻すことができます。

## GPX ファイルにエクスポートする

トリップから汎用的な GPS データファイルを書出します。  
Google Earth™ など、他のソフトウェアで活用する場合にご使用ください。

- ① トリップ情報の編集画面から【GPX エクスポート】をクリックします  
確認メッセージを表示します。



- ② 【エクスポート】をクリックします  
GPX ファイルをダウンロードします。



# コンピュータの設定変更

コンピュータの設定変更は以下の方法で行えます。

- CATEYE Sync™ で設定を変更する（本ページ下）  
コンピュータと PC をクレードルで接続した状態で、PC のアプリから簡単に設定を変更できます。

**△注意** ANT+ センサーのペアリングは、CATEYE Sync™ では行えません。  
ペアリング方法については、「ペアリング」（36 ページ）をご覧ください。

- コンピュータ単体で設定を変更する（33 ページ）  
フィールドで設定変更をする場合にご利用できます。

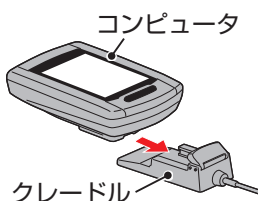
## CATEYE Sync™ で設定を変更する

ビデオを見る  
(YouTube)


ボタンをクリックするとブラウザが開き、  
ムービーを再生します。

### 1 コンピュータをクレードルにセットします

**△注意** コンピュータが濡れた状態でクレードルに  
セットしないでください。  
接点がショートしコンピュータやデータを  
損傷する場合があります。



### 2 USB プラグを PC に差込みます

画面は  (バッテリーアイコン) 表示のみになります。



### 3 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの [CATEYE Sync™] をダブルクリック  
すると、CATEYE Sync™ が起動します。

### 4 [各種設定] をクリックします

設定画面を表示します。



## 5 [ステルス] をクリックして各種設定を変更します

設定を変更する前に [読み込み] をクリックして、コンピュータの設定値を読み込んでください。



コンピュータに記録したデータを消去します。

現時点のコンピュータの設定値を読み込みます。

下記の手順に従い設定内容を変更します。

設定項目	内容
タイムゾーン	現在地から最も近い都市コードを選択します。 ※ 詳しくは「タイムゾーン一覧」(11 ページ) をご覧ください。
サマータイム	サマータイムを適用するかどうかを選択します。 • <b>On</b> : 通常の時刻から 1 時間進みます。 • <b>Off</b> : 通常の時刻を表示します。 ※ 日本では導入していませんので <b>Off</b> を選択してください。
計測単位	速度単位 (km/h または m/h) を選択します。

設定項目	内容
夜間設定	バックライトが点灯する時間を設定します。 • 夜間設定オン : バックライトの点灯開始時刻を入力します。 • 夜間設定オフ : バックライトの消灯時刻を入力します。 (例) PM7:00 ~ AM6:00 まで点灯する場合 夜間設定オン : 19 夜間設定オフ : 6 ※ 終日バックライトを点灯したくない場合は、夜間設定オンと夜間設定オフを同じ値にしてください。
タイヤ周長	スピード計測可能な ANT+ センサーをペアリングした場合に設定します。 スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を割り当てます。(設定範囲 : 0100 ~ 3999 mm) • <b>ISC1 (ISC-1)</b> : スピード/ケイデンスセンサー 1 • <b>SPD1 (SP-1)</b> : スピードセンサー 1 • <b>ISC2 (ISC-2)</b> : スピード/ケイデンスセンサー 2 • <b>SPD2 (SP-2)</b> : スピードセンサー 2 ※ 初期設定は 2096 です。 ※ ペアリングしていないセンサーは、タイヤ周長を入力しても設定できません。 ※ <b>ISC2</b> 、 <b>SPD2</b> は 1 つのコンピュータを 2 台の自転車に併用する場合に使用します。 詳しくは「ペアリング」(36 ページ) をご覧ください。 ※ スピード信号を発信可能なパワーセンサーのタイヤ周長は <b>SP-2</b> に入力してください。
積算距離	積算距離の開始値を入力でき、その値から加算します。(設定範囲 : 00000 ~ 99999) ※ コンピュータの買換時や再設定する場合に活用ください。 ※ 積算距離は整数のみを入力します。



コンピュータに記録したデータを消去します。

現時点のコンピュータの設定値を読み込みます。

## 6 [設定] をクリックします

変更内容をコンピュータに反映します。

スケジュールからコンピュータを外して設定変更は完了です。

設定項目	内容
サンプリング 間隔	計測データの記録間隔を設定します。 ※ 選択した秒数により、最大記録時間（全トリップデータの合計時間） / 1 トリップ最大時間は異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1s（1 秒間隔）： 35 時間 / 12 時間</li> <li>• 2s（2 秒間隔）： 70 時間 / 24 時間</li> <li>• 5s（5 秒間隔）： 175 時間 / 60 時間</li> </ul>
時間表記	「12h」（12 時間表示）または「24h」（24 時間表示）を選択します。 ※ 日付・時刻は GPS 信号から取得するため入力不要です。
ファンクション	任意の選択データを非表示にできます。 （チェックあり：表示、チェックなし：非表示） ※ 計測は非表示の選択データも行い、再表示すると計測結果を反映します。
中段選択	計測画面の中段表示を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 時刻：時刻を表示します。</li> <li>• 海拔高度：海拔高度を表示します。</li> </ul> ※ パワー信号を受信すると中段選択の設定に関わらずパワーを表示します。

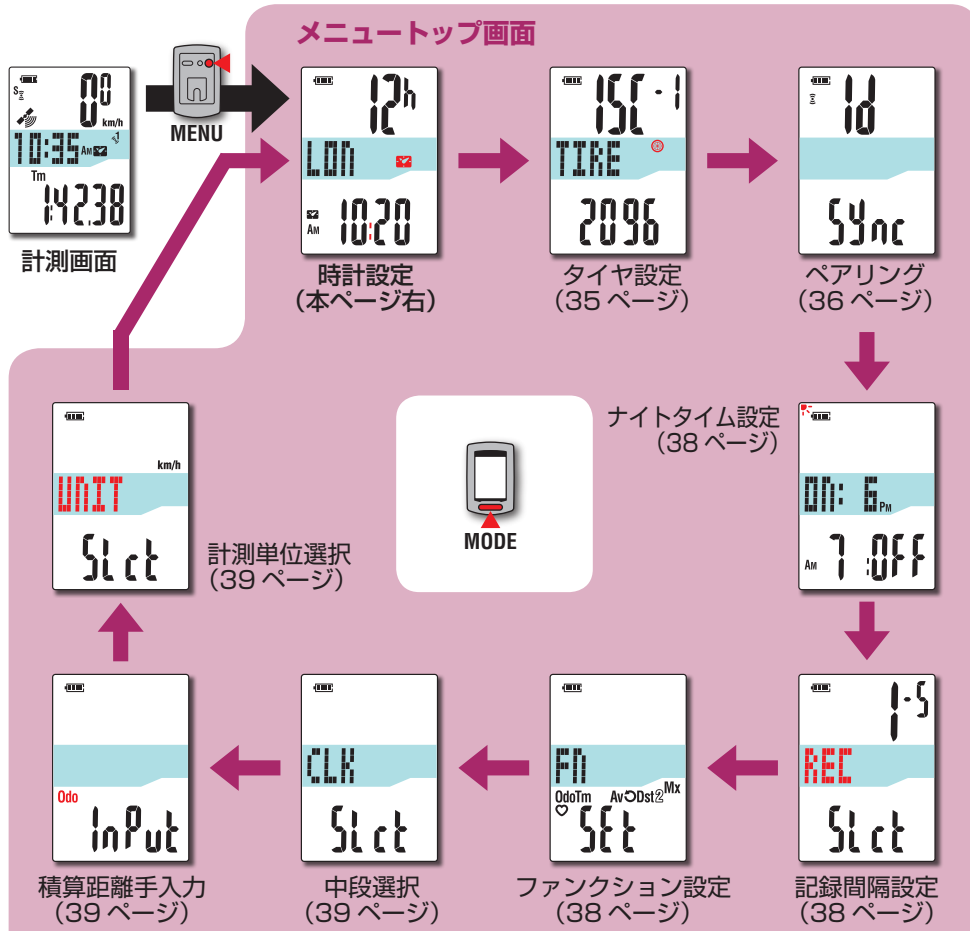


## コンピュータ単体で設定を変更する

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面に切替ります。メニュー画面では、各種設定を変更することができます。

※ 設定を変更した後は、必ず **MENU** を押して変更内容を確定してください。

※ メニュー画面で 1 分間放置すると計測画面に戻ります。



### タイムゾーン切替 (ショートカット)

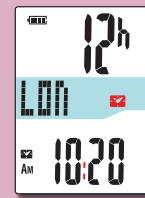
2つの地域を往復した場合などに元の地域のタイムゾーンに簡単に戻すことができます。

※ 詳しくは「タイムゾーン一覧」(34 ページ) をご覧ください。



4 秒間  
長押し

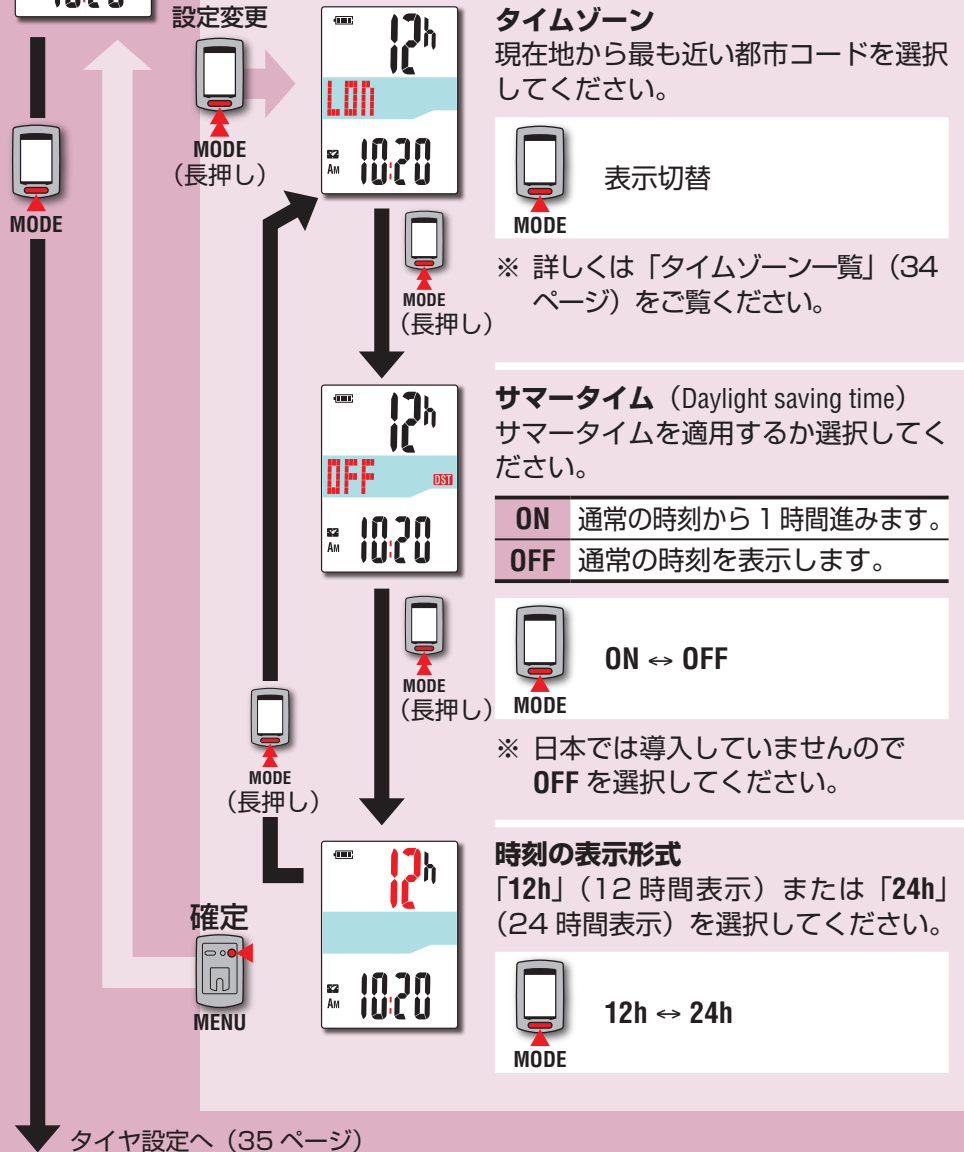
計測単位選択より (39 ページ)



## 時計設定

タイムゾーン、サマータイム、時間表示方法の設定を変更します。

※ 本器は GPS 信号を受信して日付や時刻を同期するため、日時の設定は必要ありません。



はじめに

自転車への  
取付方法

コンピュータの  
セットアップ

コンピュータ  
の使い方

PC の  
セットアップ

計測データの  
ダウンロード

コンピュータ  
の設定変更

その他

## タイムゾーン切替 (ショートカット)

すべてのメニュートップ画面で **MODE** を 4 秒間押し続けるとタイムゾーンを 1 つ前のタイムゾーンに戻します。もう一度押し続けると元のタイムゾーンに戻ります。

例：タイムゾーン切替を行います

現在の設定	NYC (ニューヨーク)
前回の設定	TYO (東京)

すべてのメニュートップ画面

ショートカット

4 秒間長押し

確定

タイムゾーンを NYC (ニューヨーク) から前回の設定の TYO (東京) に変更します。

もう一度、タイムゾーン切替を行います

現在の設定	TYO (東京)
変更前の設定	NYC (ニューヨーク)

すべてのメニュートップ画面

ショートカット

4 秒間長押し

確定

タイムゾーンを TYO (東京) から変更前の NYC (ニューヨーク) に変更します。

※ タイムゾーンの異なる 2 つの都市を行き来する場合は、2 つ目の都市でタイムゾーンを変更しても、ショートカット操作を行うことで簡単に元の都市のタイムゾーンに戻すことができます。

※ ショートカットで保持するタイムゾーンは、1 つ前の設定のみです。

## タイムゾーン一覧

都市コード	都市名	時差
LON	ロンドン	0
PAR	パリ	+1
ATH	アテネ	+2
MOW	モスクワ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9

都市コード	都市名	時差
DRW	ダーウィン	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレッジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3

※ 詳しくは、11 ページの地図でご確認ください。



## タイヤ設定

スピード計測可能な ANT+ センサーをペアリングした場合に設定します。

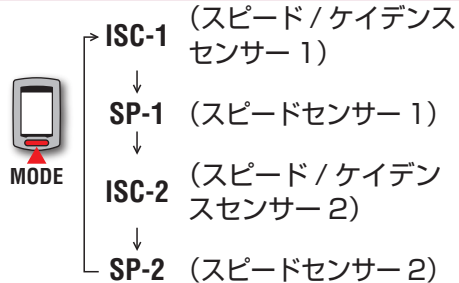
スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を割当てます。

設定変更



### センサーの選択

タイヤ周長を設定するセンサーを選択してください。



- ※ 使用中のセンサーを最初に表示します。
- ※ スピード信号を発信可能なパワーセンサーのタイヤ周長は **SP-2** に入力してください。
- ※ **ISC-2**、**SP-2** は 1 つのコンピュータを 2 台の自転車で併用する場合に使用します。詳しくは「ペアリング」(36 ページ) をご覧ください。

確定



### タイヤ周長の入力

設定範囲：0100 ~ 3999 mm



数値の増加



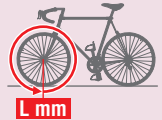
桁移動 (長押し)

### タイヤ周長について

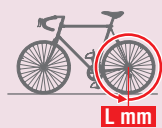
タイヤ周長は、以下のタイヤ周長ガイドから、自転車のタイヤサイズを基に周長 (L) を見つける方法と、自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める方法があります。

#### 自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める

タイヤの空気圧を適正にし、荷重をかけた状態で、バルブ等の目印になるものを基準にしてタイヤを 1 回転させ、路面の寸法を測ります。



または

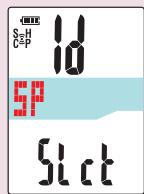
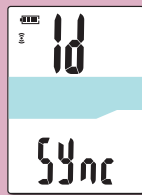


※ センサーを装着する側のタイヤを測ります。

#### タイヤ周長ガイド

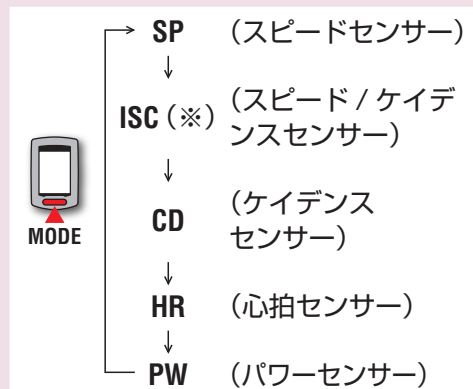
※ ETRTO やタイヤサイズはタイヤの側面に記載しています。

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)	ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)	ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935	28-540	24x1-1/8	1795	37-630	27x1-3/8	2169
54-203	12x1.95	940	32-540	24x1-1/4	1905	40-584	27.5x1.50	2079
40-254	14x1.50	1020	25-559	26x1(559)	1913	50-584	27.5x1.95	2090
47-254	14x1.75	1055	32-559	26x1.25	1950	54-584	27.5x2.10	2148
40-305	16x1.50	1185	37-559	26x1.40	2005	57-584	27.5x2.25	2182
47-305	16x1.75	1195	40-559	26x1.50	2010	18-622	700x18C	2070
54-305	16x2.00	1245	47-559	26x1.75	2023	19-622	700x19C	2080
28-349	16x1-1/8	1290	50-559	26x1.95	2050	20-622	700x20C	2086
37-349	16x1-3/8	1300	54-559	26x2.10	2068	<b>23-622</b>	<b>700x23C</b>	<b>2096</b>
32-369	17x1-1/4(369)	1340	57-559	26x2.125	2070	25-622	700x25C	2105
40-355	18x1.50	1340	58-559	26x2.35	2083	28-622	700x28C	2136
47-355	18x1.75	1350	75-559	26x3.00	2170	30-622	700x30C	2146
32-406	20x1.25	1450	28-590	26x1-1/8	1970	32-622	700x32C	2155
35-406	20x1.35	1460	37-590	26x1-3/8	2068		700C Tubular	2130
40-406	20x1.50	1490	37-584	26x1-1/2	2100	35-622	700x35C	2168
47-406	20x1.75	1515		650C Tubular 26x7/8	1920	38-622	700x38C	2180
50-406	20x1.95	1565	20-571	650x20C	1938	40-622	700x40C	2200
28-451	20x1-1/8	1545	23-571	650x23C	1944	42-622	700x42C	2224
37-451	20x1-3/8	1615	25-571	650x25C	1952	44-622	700x44C	2235
37-501	22x1-3/8	1770		26x1(571)	1952	45-622	700x45C	2242
40-501	22x1-1/2	1785	40-590	650x38A	2125	47-622	700x47C	2268
47-507	24x1.75	1890	40-584	650x38B	2105	54-622	29x2.1	2288
50-507	24x2.00	1925	25-630	27x1(630)	2145	56-622	29x2.2	2298
54-507	24x2.125	1965	28-630	27x1-1/8	2155	60-622	29x2.3	2326
25-520	24x1(520)	1753	32-630	27x1-1/4	2161			
	24x3/4 Tubular	1785						

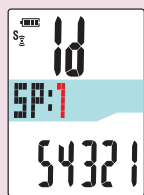


### センサーの選択

ペアリングするセンサーを選択してください。



※ CATEYE 製スピード/ケイデンスセンサー (ISC-11) の場合は [ISC] を選択してペアリングを行います。



### センサー No. の選択

コンピュータには、1 種類のセンサーにつき 2 つのセンサー ID を登録することができます。



1 (1 台目) ↔ 2 (2 台目)

※ 2 台目の自転車に取付けたセンサーを 2 (2 台目) でペアリングすることでコンピュータは 2 台の自転車を自動的に識別することができます。

※ 次手順は、自動照合と ID 番号の手入力により、手順が異なります。状況に応じた方法をご覧ください。

つづく  
(37 ページ)

## ペアリング (センサー ID 照合)

ANT+ センサーをお持ちの場合に設定します。

ANT+ センサーを追加・再設定する場合は、以下の手順でペアリングを行います。本器のペアリングには以下の 2 つの方法があります。

照合方法	説明
自動照合	センサーが発信する信号をコンピュータが受信してペアリングを完了させます。 ※ 一般的にはこの方法でペアリングを実施してください。
ID 番号の手入力	センサーの ID 番号がわかっている場合は、その番号を入力してペアリングすることができます。 ※ レース会場など複数の ANT+ センサーが存在して、自動照合ができない場合などにご利用いただけます。

### 自動照合の場合

MODE を長押しすると画面下段の表示が切替り、自動照合を開始します。  
自動照合画面の間にセンサー信号を発信してください。

※ 近くに他の ANT+ センサーがある場合は、照合するセンサーの信号を発信してから **MODE** を長押ししてください。目的のセンサーとペアリングしやすくなります。

### ID 番号の手入力の場合

自動照合の開始後、3 秒以内に **MODE** を押すと  
ID 番号入力画面に切替ります。

MODE で数値を入力して、長押しで桁移動します。

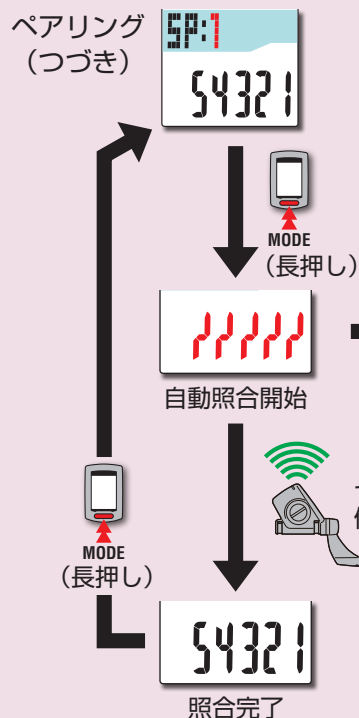
設定範囲：00001 ~ 65535



数値の増加



桁移動  
(長押し)



画面に ID 番号を表示します。

※ ID 番号はセンサー固有の番号ですのでひかえておくと便利です。

※ 各センサーは以下の動作でセンサー信号を発信します。

センサーの種類	方法
SP スピードセンサー	
ISC スピード/ケイデンスセンサー	マグネットをセンサーゾーンに数回近づける (間隔 3 mm 以内)
CD ケイデンスセンサー	
HR 心拍センサー	心拍センサーを装着する
PW パワーセンサー	自転車に乗って軽く走行する

※ コンピュータは、自動照合開始後、5 分間待受状態になります。  
この間にセンサーの信号を発信してください。

※ センサー信号の待受中に **MODE** を長押しすると自動照合をキャンセルできます。  
なお、待受時間内にセンサー信号を受信できない場合は強制的にキャンセルとなります。

確定



MENU

確定



MENU

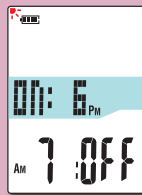
ナイトタイム設定へ (38 ページ)

ペアリングより (36 ページ)

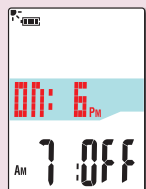
## ナイトタイム設定

バックライトが点灯する時間を設定します。

※ 終日バックライトを点灯したくない場合は、開始時間と終了時間を同じ時刻にしてください。



設定変更

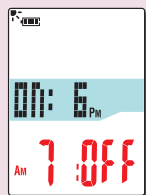


### 開始時間

バックライトの点灯開始時刻を入力します。



数値増加



### 終了時間

バックライトの消灯時刻を入力します。



数値増加



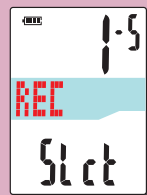
記録間隔設定へ

ナイトタイム設定より

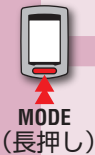
## 記録間隔設定

計測データを記録する秒間隔を設定します。

※ 選択した秒数により、コンピュータで記録できる最大記録時間 / 1 トリップの最大時間は変化します。



設定変更



確定



記録間隔	最大記録時間 (全トリップデータの合計時間)	1 トリップの最大時間
1-S (1 秒)	35 時間	12 時間
2-S (2 秒)	70 時間	24 時間
5-S (5 秒)	175 時間	60 時間



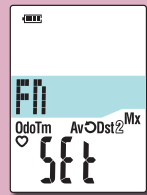
1-S → 2-S → 5-S

## ファンクション設定

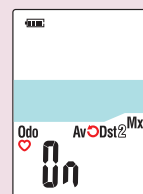
任意の選択データを非表示にできます。

※ 走行時間 (Tm) は非表示にできません。

※ 計測は非表示の選択データも行われ、再表示すると計測結果を反映します。



設定変更



確定



ON ↔ OFF



♡ → Dst → Dst2 → Av  
↑ Odo ← ALT ← Mx ↓  
(長押し)

中段選択へ (39 ページ)

はじめに

自転車への  
取付方法

コンピュータの  
セットアップ

コンピュータ  
の使い方

PC の  
セットアップ

計測データの  
ダウンロード

コンピュータ  
の設定変更

その他

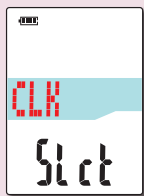
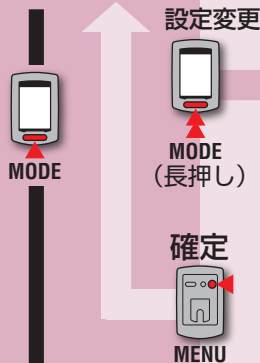
ファンクション設定より (38 ページ)



### 中段選択

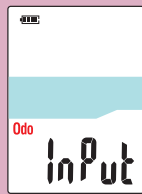
計測画面の中段表示を選択します。

※ パワー信号を受信すると中段選択の設定に関わらずパワーを表示します。



MODE

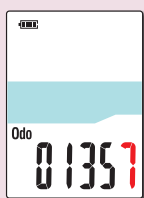
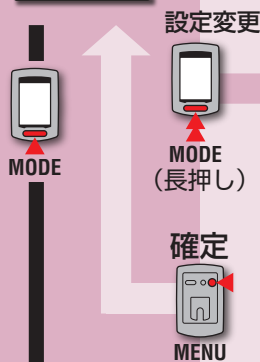
CLK (時刻)  
↕  
ALT (海拔高度)



### 積算距離手入力

積算距離の開始値を入力でき、その値から加算します。買換時や再設定する場合に活用ください。

※ 積算距離は整数のみを入力します。



MODE

数値増加

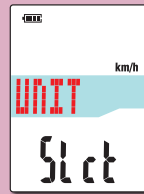
MODE

桁移動 (長押し)



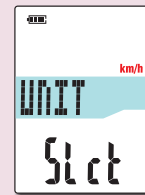
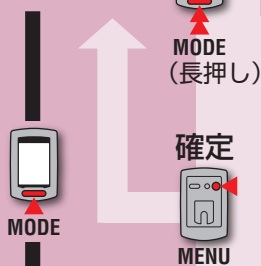
計測単位選択へ

積算距離手入力より



### 計測単位選択

速度単位 (Km/h または m/h) を選択します。



MODE

km/h ↔ m/h



時計設定へ (33 ページ)

# 動作が不安定な場合

コンピュータに異常な表示が見られる場合は、動作を安定させるため、リスタート操作を行ってください。

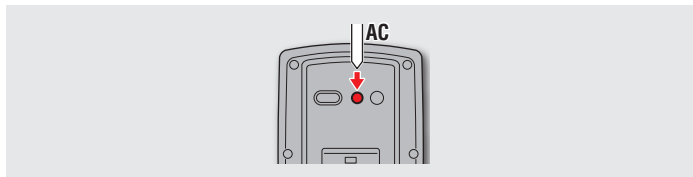
※ リスタート操作を行うと、計測途中の記録は消去します。

※ 計測途中の場合は、リスタート操作の前にリセット操作を行いトリップデータを生成することをお勧めします。

## リスタート操作

コンピュータ裏面の AC ボタンを押します。

画面が 2 秒全点灯して、GPS サーチ画面に切替ります。



GPS サーチ画面

## 保持されるデータ・消去されるデータ

リスタート操作で保持・消去されるデータは以下の通りです。

保持されるデータ	消去されるデータ
計測単位	
時計設定 (タイムゾーン・直前のタイムゾーン・サマータイム・表示方法)	
各センサー (スピード・スピード/ケイデンス・ケイデンス・心拍・パワー) のセンサー ID	計測途中のデータ
ナイトタイム設定 (開始時間・終了時間)	(走行時間、走行距離、走行距離 2、平均速度、最高速度、GPS ルート情報)
記録間隔	
ファンクション設定	
中段選択	
積算距離値 (*1)	
リセット操作で生成したトリップデータ	

\*1: 計測後のリセット操作前にリスタート操作を行うと、その距離数は積算距離値に加算しません。










# トラブルシューティング

以下の場合には故障ではありません。

CATEYE Atlas™ (Web) の「Q&A」(<http://www.cateyeatlas.com/qa/>) と合わせてご覧ください。

## コンピュータに関するトラブル

トラブル	チェック項目	対処方法
電源をオンにすると  (バッテリーアイコン) が点滅した後、無表示になる	—	バッテリー残量がありません。「充電方法」(7ページ)の手順に従ってコンピュータを充電してください。
走行中に電源がオフになる	—	GPS 信号やスピード信号が受信できないまま 10 分経過すると自動的に電源がオフになります。(オートパワーオフ)
 ボタンを 2 秒間押し続けても全く表示が出ない。	コンピュータのバッテリーが消耗していませんか?	「充電方法」(7ページ)の手順に従ってコンピュータを充電してください。
異常な表示が出る。	—	「動作が不安定な場合」(40ページ)の手順に従ってください。
計測できない。(スピード計測可能な ANT+ センサーを使用している場合)	 S または  C が点滅しない	
	センサーとペアリングを行いましたか?	ペアリング (36 ページ) を行ってください。
	センサーの取付条件を満たしていますか?	センサーに付属の取扱説明書をご覧ください。
	センサーの電池が消耗していませんか?	新しい電池と交換してください。
	<b>STOP</b> を表示している	
—	—	計測を停止しています。  ボタンを押して計測を開始してください。 詳しくは「計測のスタート/ストップ」(16 ページ) をご覧ください。

トラブル	チェック項目	対処方法
計測できない。(スピード計測可能な ANT+ センサーを使用していない場合)	 が点滅している	
	電源をオンにした直後ではありませんか?	GPS 信号を受信してから位置情報を取得するまで約 2 ~ 3 分かかります。
	GPS 信号の受信に適さない場所や天候ではありませんか?	以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値を得られない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など</li> <li>悪天候 (雪や雨など)</li> <li>高圧電線や携帯電話の中継局の近く</li> <li>コンピュータの画面が上空を向いていない</li> </ul>
	コンピュータの画面 (アンテナ部) が上空を向くように取付けていますか?	GPS 信号を受信しやすくするため、コンピュータの画面が上空を向くように取付けてください。
	<b>STOP</b> を表示している	
—	—	計測を停止しています。  ボタンを押して計測を開始してください。 詳しくは「計測のスタート/ストップ」(16 ページ) をご覧ください。

トラブル	チェック項目	対処方法
計測データの値がおかしい	—	スピード計測可能な ANT+ センサーを使用しない場合は GPS により計測を行うため、受信状況により、計測が中断したり実際と異なる値を示す場合があります。
MEM FULL が点滅する	最大記録時間またはトリップ数が上限を超えていませんか？ ※ 詳しくは「記録間隔と容量制限」(26 ページ) をご覧ください。	コンピュータを PC に接続して、トリップデータをアップロードしてください。(22 ページ) PC に転送したトリップデータをコンピュータから消去して、新しい記録が可能になります。
	1 トリップの最大時間が上限を超えていませんか？ ※ 詳しくは「記録間隔と容量制限」(26 ページ) をご覧ください。	リセット操作 (18 ページ) して一旦トリップを終了してください。 その後は別トリップとして記録することができます。
指定時刻になってもバックライトが点灯しない	開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定していませんか？	開始・終了時刻を同じ時刻にするとバックライトは点灯しません。開始・終了時刻の設定は「ナイトタイム設定」(CATEYE Sync™ の場合：30 ページ、コンピュータ単体の場合：38 ページ) をご覧ください。
明るい時間帯にバックライトが点灯する	ナイトタイムの開始時刻は正しく設定していますか？	開始・終了時刻の設定は「ナイトタイム設定」(CATEYE Sync™ の場合：30 ページ、コンピュータ単体の場合：38 ページ) をご覧ください。

## ANT+ センサーに関するトラブル

オプションまたは市販の ANT+ センサーをご使用の場合にご確認ください。

※ ANT+ センサーの使用には、コンピュータとのペアリングが必須です。  
詳しくは「ペアリング」(36 ページ) をご覧ください。

※ 市販の ANT+ センサーをご使用の場合は、センサーに付属の取扱説明書と合わせてご覧ください。

トラブル	チェック項目	対処方法
心拍数が計測できない (H が点滅しない)	心拍センサーとペアリングを行いましたか？	ペアリング (36 ページ) を行ってください。
	電極パッドが身体から離れていませんか？	電極パッドが身体に密着するように装着してください。
	肌が乾燥していませんか？	電極パッドを少し湿らせます。
	電極パッドが長期間の使用で劣化損傷していませんか？	新しい物と交換してください。
	心拍センサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
心拍数が 0 になったり、計測されたりする	心拍センサーは正しく装着していますか？	心拍センサーの取扱説明書をご覧ください。正しい位置に装着してください。
パワーが計測できない (P が点滅しない)	ご使用のパワーセンサーとペアリングを行いましたか？	ペアリング (36 ページ) を行ってください。
	パワーセンサーの取付条件を満たしていますか？	パワーセンサーの取扱説明書をご覧ください。正しく取付けてください。
	パワーセンサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。

トラブル	チェック項目	対処方法
パワー表示が正確でない	—	<p>パワーセンサーのキャリブレーション（19ページ）を実行してください。</p> <p>※ パワーセンサーは使い続け無負荷状態に若干のずれが生じてきます。定期的にキャリブレーションを実行して、補正を行ってください。</p>

## メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

## バッテリーの交換について

使用時間が著しく短い場合はバッテリーの寿命です。バッテリーの交換は弊社カスタマーサービスへご依頼ください。

**△注意** コンピュータは精密機器のため、絶対に分解しないでください。

## コンピュータの廃棄方法

プラスドライバーでコンピュータ裏面のネジ（6本）を外し、内部の電池を取り出してから廃棄してください。

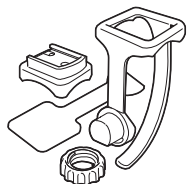
### △注意

- リチウムイオン充電電池は、リサイクルできます。寿命を終えた充電電池は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 製品廃棄時以外は絶対に分解しないでください。
- 必ず、コンピュータの充電電池を使い切ってください。
- 取出した充電電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲込んだときは、すぐに医師にご相談ください。

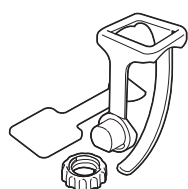
# 別売部品

## 標準部品

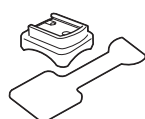
1602194  
ブラケットキット



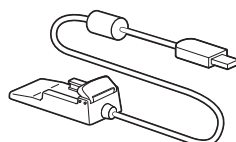
1600280N  
ブラケットバンド



1602193  
ブラケット

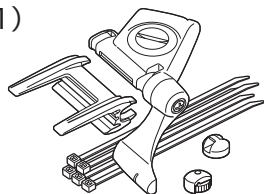


1603790  
クレードル  
(IF-CC01)

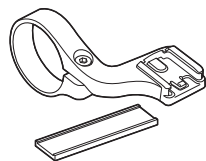


## オプション部品

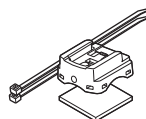
1603750  
スピードセンサー  
(スピード/ケイデンス)  
(ISC-11)



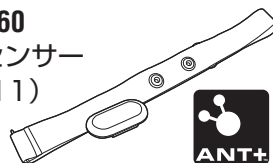
1604100  
アウトフロント  
ブラケット



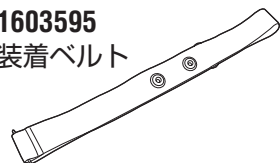
1602980  
ナイロントイ  
ブラケット



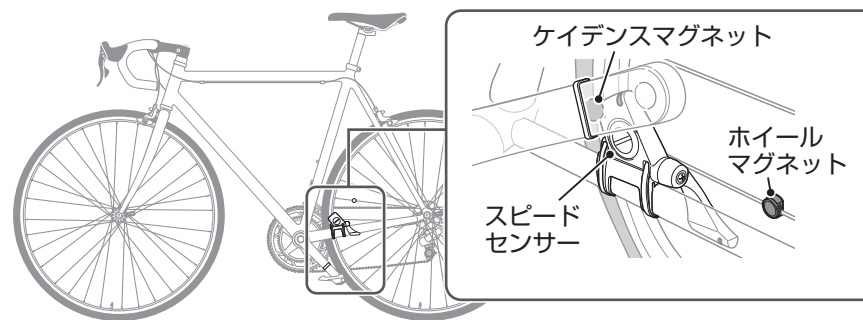
1603760  
心拍センサー  
(HR-11)



1603595  
装着ベルト



## スピード/ケイデンスセンサー (ISC-11) の取付方法



ビデオを見る  
(YouTube)

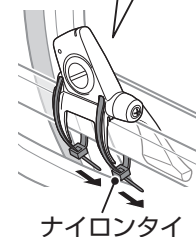
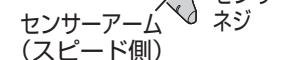
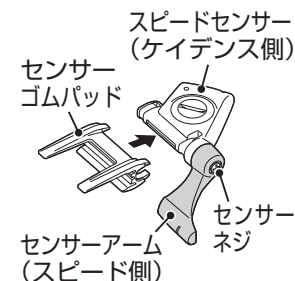
ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーを再生します。

### 1 スピードセンサーを仮止めします

- ① プラスドライバーでスピードセンサーのセンサーネジをゆるめ、センサーアームが動くことを確認します。センサーネジは完全に取外さないでください。
- ② スピードセンサーにセンサーゴムパッドを取付け、上図を参考に左チェーンステアに乗せて、ナイロントイで仮止めします。

#### ⚠注意

ここでは、ナイロントイを完全に締付けないでください。ナイロントイは、一旦締付けると引抜くことはできません。

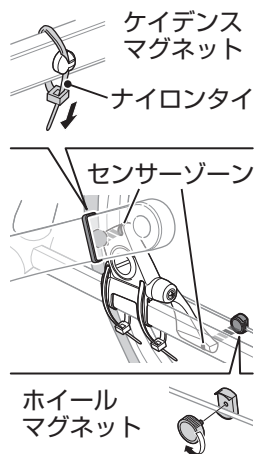


## 2 マグネットを仮止めします

- ① ケイデンス側のセンサーゾーンに対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロンタイで仮止めします。

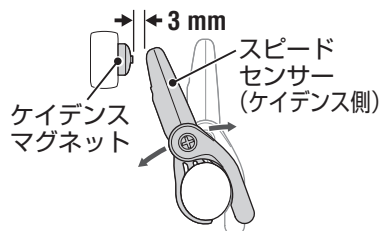
- ② センサーアームを回転させ、スピード側センサーゾーンに対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

※ スピードセンサーが2つのマグネットとの位置関係（スピード/ケイデンスの両方）を確保できない場合は、スピードセンサーを前後方向に動かし、調整します。このときスピードセンサーの移動に合わせ、必ず各センサーゾーンにマグネットが対面するよう調整が必要です。

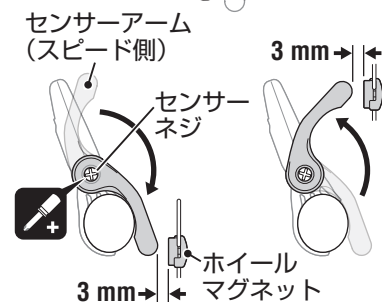


## 3 マグネットとの隙間を調節します

- ① ケイデンスマグネットとスピードセンサーのケイデンス側の隙間が約3mmになるようにスピードセンサーを傾け、ナイロンタイでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーアーム（スピード側）の隙間が約3mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付け固定します。



## 4 各部の固定

スピードセンサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

※ 自転車にスチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。



## 心拍センサー（HR-11）の装着方法

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

**警告** ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

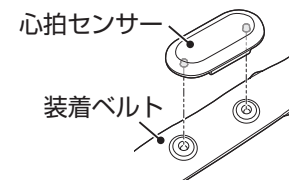
- 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- 皮膚の弱い方などは、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着できます。
- 胸毛が計測を妨害することもあります。

ビデオを見る  
(YouTube)

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーを再生します。

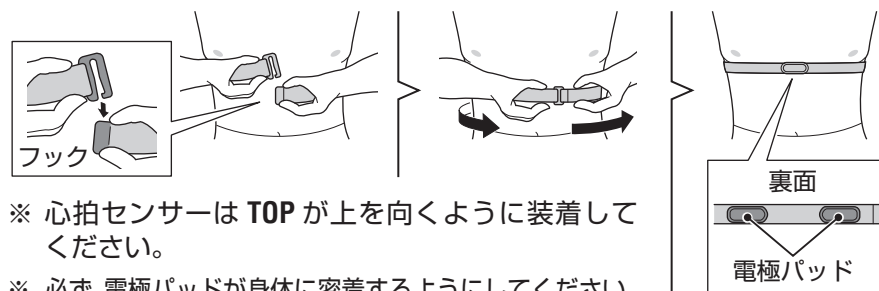
## 1 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



## 2 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端にひっかけて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調節します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。











※ 心拍センサーはTOPが上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着する場合は計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

# 製品仕様

計測機能	上段表示	走行速度	0.0 (3.0) ~ 105.9 km/h [0.0 (2.0) ~ 65.9 m/h]
		AV 平均速度	0.0 ~ 105.9 km/h [0.0 ~ 65.9 m/h]
		MAX 最高速度	0.0 (3.0) ~ 105.9 km/h [0.0 (2.0) ~ 65.9 m/h]
	中段表示	 時刻	0:00 ~ 23:59 [AM1:00 ~ PM12:59] (12/24h 表示切替可能) (GPS による自動照合)
		海拔高度	-500 ~ 9999 m [-1640 ~ 29600 ft]
		パワー (*1)	0 ~ 9999 watt
		AV 平均パワー (*1)	0 ~ 9999 watt
		MAX 最大パワー (*1)	0 ~ 9999 watt

計測機能	下段表示	Tm 走行時間	0:00'00" ~ 9:59'59"
		 心拍数 (*1)	0 (30) ~ 199 bpm
		 ケイデンス (*1)	0 (20) ~ 199 rpm
		パワーバランス (*2)	左側: 0 ~ 100% 右側: 0 ~ 100%
		Dst 走行距離	0.00 ~ 999.99 km [mile]
		Dst 2 走行距離 2	0.00 ~ 999.99 / 1000.0 ~ 9999.9 km [mile]
		AV 平均速度	0.0 ~ 105.9 km/h [0.0 ~ 65.9 m/h]
		AV  平均心拍数 (*1)	0 ~ 199 bpm
		AV  平均ケイデンス (*1)	0 ~ 199 rpm
		MAX 最高速度	0.0 (3.0) ~ 105.9 km/h [0.0 (2.0) ~ 65.9 m/h]
		MAX  最大心拍数 (*1)	0 (30) ~ 199 bpm
		MAX  最大ケイデンス (*1)	0 (20) ~ 199 rpm
		ALT 海拔高度	-500 ~ 9999 m [-1640 ~ 29600 ft]
		Odo 積算距離	0.0 ~ 9999.9 / 10000 ~ 99999 km[mile]
		 時刻	0:00 ~ 23:59 [AM1:00 ~ PM12:59] (12/24h 表示切替可能) (GPS による自動照合)

\*1: 計測にはオプションまたは市販の ANT+ センサーが必要です。

\*2: 左右独立型の ANT+ パワーセンサーが必要です。

バッテリー	リチウムイオン充電電池
充電及び通信	USB クレードル
標準充電時間	約 5 時間 (USB2.0)
標準使用時間	約 10 時間
繰返し充放電回数	標準 300 回 (定格容量の 70%の容量低下まで)
制御方式	マイクロコンピュータ (水晶発振器)
表示方式	液晶表示 (EL バックライト：ナイトタイム常時点灯)
センサー信号 通信方式	ANT+
使用温度範囲	0℃～40℃ (動作保証範囲：範囲外は表示の視認性が悪化します)
寸法・重量	69 x 45 x 22.4 mm / 50 g

※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

## 製品保証について

### 2 年間保証:コンピュータのみ (バッテリーの消耗は除く)

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前に E メール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

ホームページ上でこの製品のユーザー登録が行えます。ご登録いただくと、ご希望によりメールマガジンを配信させていただきます。  
<http://www.cateye.com/jp/support/register/>

[宛先] 株式会社 **キャットアイ** カスタマーサービス  
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号  
TEL: (06)6719-6863 ダイヤルイン  
FAX: (06)6719-6033  
ホームページ <http://www.cateye.com>  
E メール [support@cateye.co.jp](mailto:support@cateye.co.jp)